60170
教科書文庫
6
410
34-1950
01304
49821

文部省検定済教科書
財団法人 学校図書研究会編修

11 学図 小算311
教育学部 資料室

さんすうのがくしゅう

三年生 上

広島大学図書
0130449821

学校図書株式会社発行

中央図書館

広島大学図書
0130449821

寄贈

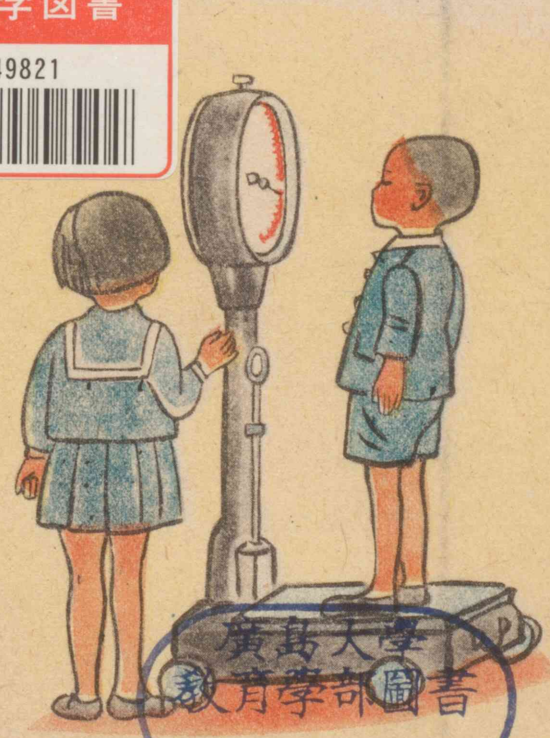
教科書文庫
6
410
34-1950
0130449821

昭和25年　月　日　文部省検定済小学校算数科用

さんすうのがくしゅう

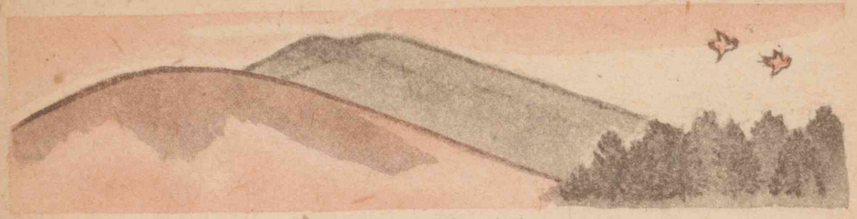
三年生上

広島大学図書
0130449821



廣島大學
教育學部圖書

学校図書株式会社



も く

1 あたらしい 学年 ………… 1

学校の いきかえり

一日の せいかつ

2 たんじょう日 ………… 17

たんじょう日しらべ

うまれ月

3 かいもの ………… 33

はがき

おもちゃや

かけざん九九

ろ く

4 九九の つかいかた ………… 62

かいものの かずと ねだん

くみの つくりかた

5 学校の はたけ ………… 77

きゅうりばたけ

えグラフ

6 わたくしの たいじゅう ………… 93

たいじゅうしらべ

わたくしの たいじゅう

さくいん ………… 107

がくしゅうの　しかた

（1）「あたらしい　学年」「かいもの」などと　かいて　ある　ところを　よんで、じぶんは　どんなに　して　いるか　かんがえましょう。

（2）つぎに　しんいちさんたちの　もんだいを　かんがえます。

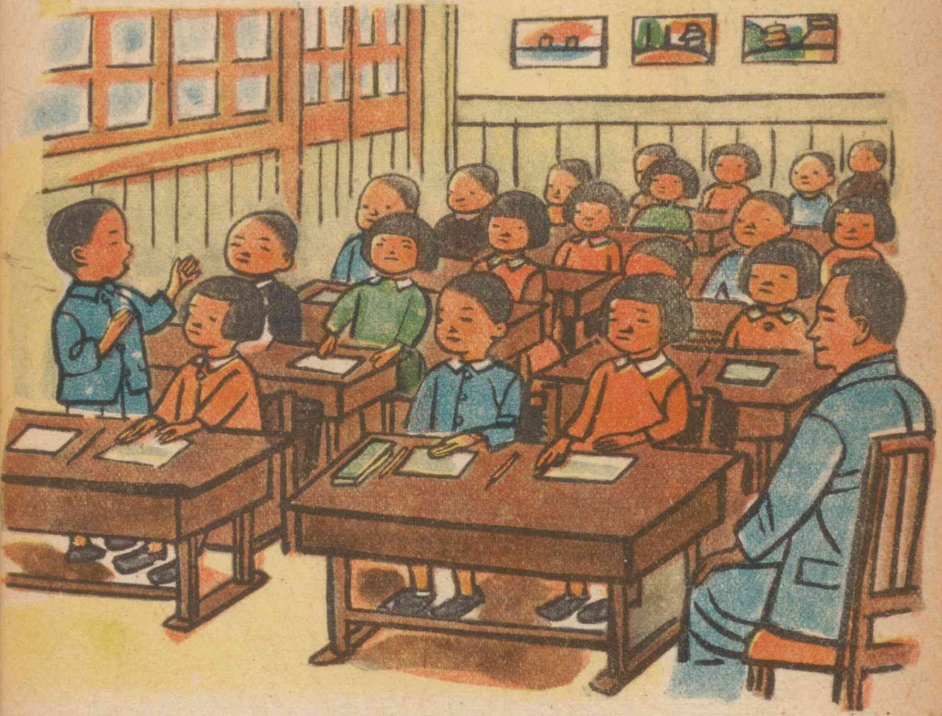
しんいちさんたちの　もんだいだけでなく、じぶんたちの　もんだいも　かんがえましょう。

（3）わからない　ことが　あったら、もんだいの　あとに　かいて　ある　せつめいを　よみましょう。

（4）「テスト」の　ところを　やって、みんな　わかって　いるか　しらべましょう。

（5）「れんしゅう」の　ところを　やって、はやく　まちがいなく　できるように　しましょう。

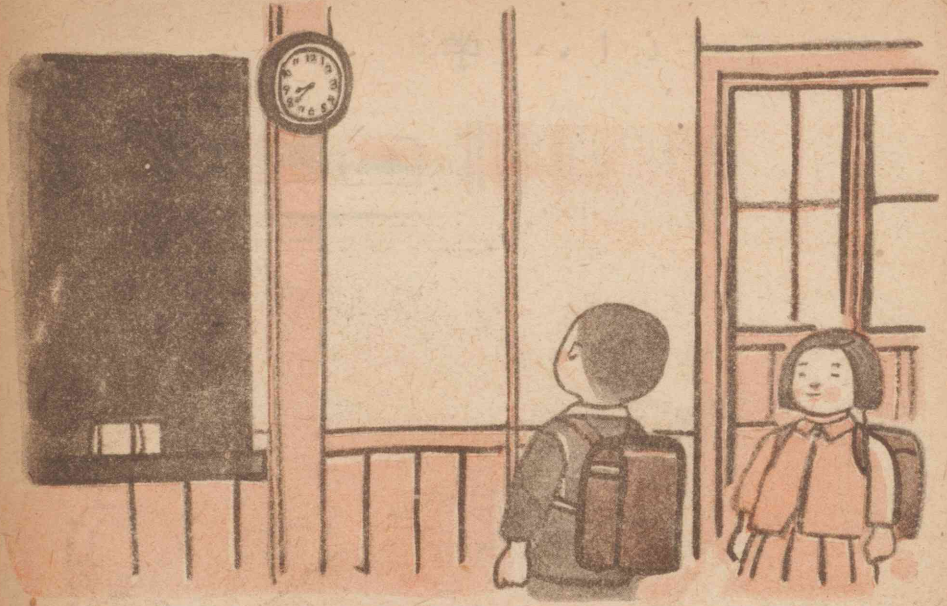
一　あたらしい　学年



あたらしい　学年を　むかえました。

しんいちさんたちは、まい日　まい日の時間の　つかいかたに　ついて、はなしあって　います。

時間を、どのように　つかったら　よいか　くふうしましょう。



学校の　いきかえり

あたらしい　学年を　むかえた　しんいちさんたちは、これから　どのような　ことに　きを　つけたら　よいかを、いろいろ　はなしあいました。

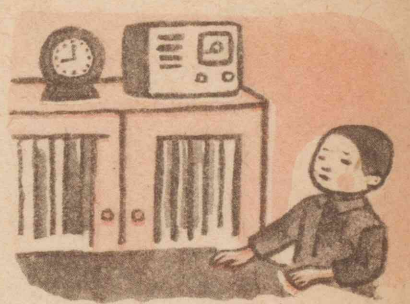
はじめに、学校の　いきかえりの　ことが　もんだいに　なりました。

二年生の　ときには、学校に　くるのが　まちまちで、ずいぶん　はやく　くる　人や、おそく　くる　人が　ありました。ときには、ちこくを　する　人も　ありました。

これからは、とけいを　よく　みて、できるだけ　おなじころに、学校へ　くるように　しようと　はなしあいました。

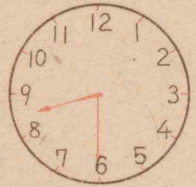
かえりも、みちくさを　しないで、さっさと　家へ　かえる　ことに　しました。

先生は、教室に　大きな　とけいを　そなえて　くださいました。



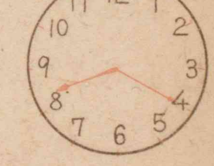
みんなは、家の　とけいを　ラジオの　じほうに　あわせる　ことに　しました。

(1) しんいちさんは、学校へ　いこうと　して　います。



とけいは　どこを　さして　いるでしょう。

(2) かずこさんも、学校へ　いこうと　して　います。



とけいは　なん時なん分　でしょう。

（3）さぶろうさんは、家から　学校まで　どれだけ　時間が　かかったでしょう。

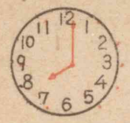
（4）しんいちさんたちは、ごご2時に　そろって　学校を　でました。

家に　ついたのは　つぎの　とおりです。

しんいちさん	ときおさん	かずこさん
2時30分	2時45分	2時15分

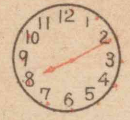
とけいの　はりは　どんなに　なって　いたでしょう。えに　かいて　みましょう。

1時間　は　60分

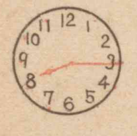


8時を　さして　います。

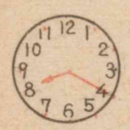
8時5分を　さして　います。



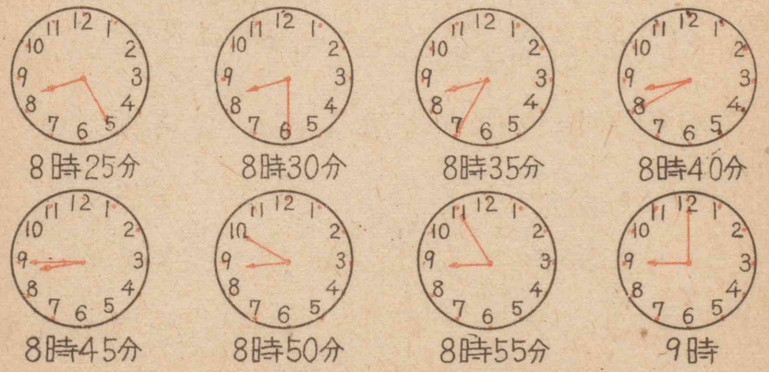
8時10分を　さして　います。



8時15分を　さして　います。



8時20分です。



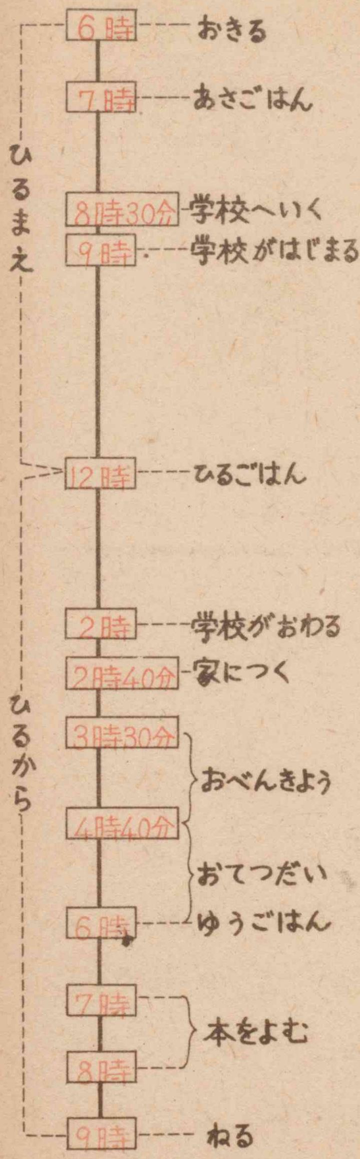
1時間＝60分

一日の　せいかつ

しんいちさんたちは、学校の　いきかえりだけで　なく、一日の　せいかつを　きまりよく　するには、どう　したら　よいだろうかと　はなしあいました。

はじめに、めいめいの　一日の　せいかつを　しらべて、それを　ずに　かきあらわして　みる　ことに　しました。

（１）しんいちさんは、あさ　おきてから　よる　ねる　ときまでを、ずに　かきあらわしました。



学校へ　でかけたのは、なん時でしょう。

学校が　はじまるのは、なん時でしょう。

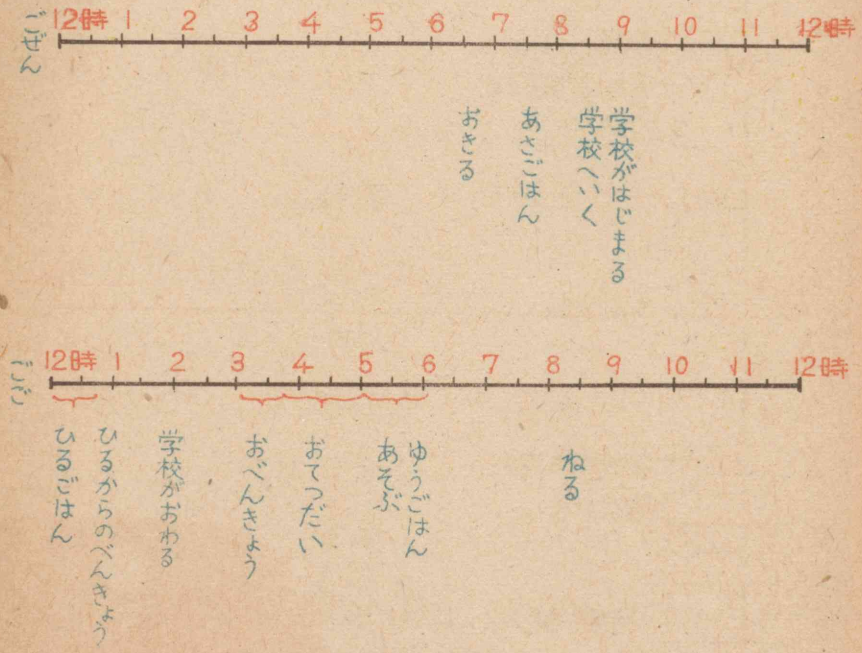
学校が　おわるのは、なん時でしょう。

おべんきょうが　すんだのは、なん時なん分でしょう。

本を　よんだのは、なん時なん分からでしょう。

しんいちさんは、あさ　７時　４０分から　にわそうじを　しました。ずの　どこでしょう。

（2）かずこさんは、ねて　いる　ときも　ずに　かきあらわしました。



かずこさんの　かいた　ずは、しんいちさんの　かいた　ずと、どこが　ちがうでしょう。

ごぜんは、なん時間　あるでしょう。

ごごは、なん時間　あるでしょう。

1日は　24時間

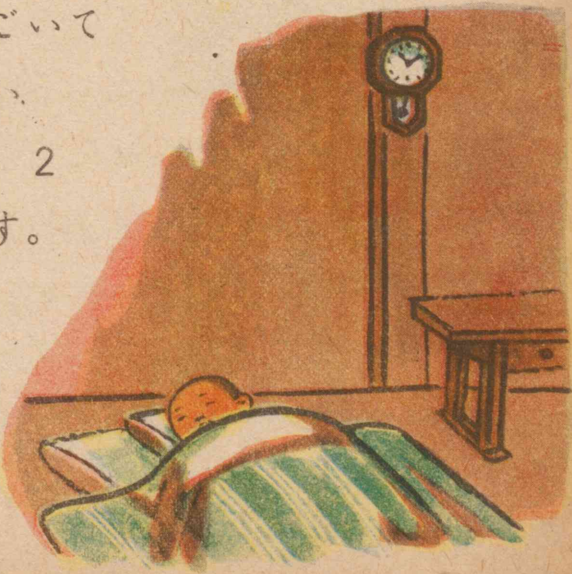
ごぜんは、　12時間　あります。

ごごも、　12時間　あります。

ごぜんの　時間と、ごごの　時間を　よせると、　24時間に　なります。

1日は　24時間です。

とけいは、みなさんが　ねて　いる　ときも、おきて　いる　ときも、たえまなく　うごいて　います。みじかい　はりは、1日に　2かい　まわります。ながい　はりは、24かい　まわります。

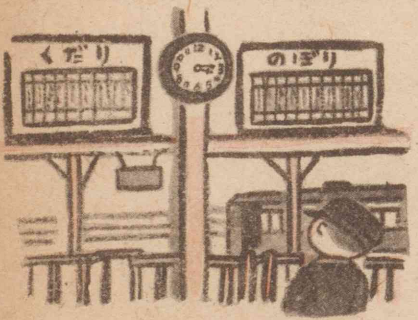


たろうさん・はなこさん

（1）たろうさんは、えきへ　おじさんを　むかえに　いきました。

家を　でたのは、ごご2時　35分で、えきに　ついたのは、3時でした。

たろうさんは、家から　えきまで、なん分かかったでしょう。



（2）きしゃが　ついたのは、3時　15分でした。

たろうさんが、えきで　まって　いた　時間は、なん分でしょう。

（3）おじさんと　家に　かえりました。家に　ついたのは、3時　45分でした。

かえりは　なん分　かかったでしょう。

（4）たろうさんは、おみやげに　どうわの　本を　もらいました。どうわの　本は、64ページです。たろうさんは、15ページ　よみました。まだ、なんページ　あるでしょう。

（5）はなこさんは、るすばんを　する　ことに　なりました。

おかあさんは、ごご2時　20分に　家を　でて、3時10分に　おかえりに　なりました。

はなこさんが、おるすばんを　した　時間は、なん分でしょう。

（6）おかあさんは、おみやげに　おはじきを　かって　きて　くださいました。

おはじきは、あかが　18こ、きが　15こ、あおが　9こ　ありました。

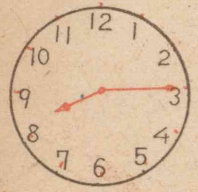
おはじきは、みんなで　いくつでしょう。

（7）はなこさんは、まえに　おはじきを　13こ　かって　もらって　いました。

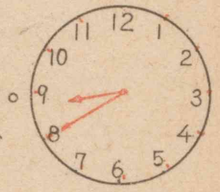
はなこさんの　おはじきは、あわせて　いくつに　なったでしょう。

テスト

（1）あきらさんは、家を　8時　15分に



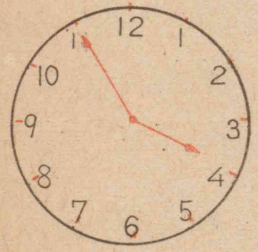
でて、8時　40分に　学校に　つきました。

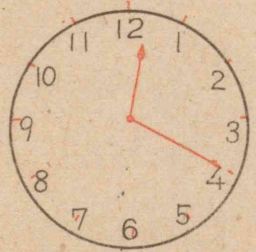


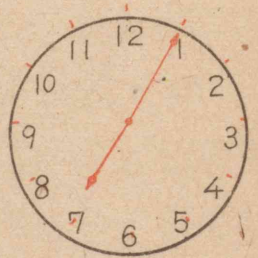
家から　学校まで　どれだけ　かかったでしょう。

（2）たかしさんは、家から　学校まで　いくのに　35分　かかります。たかしさんが、家を　7時　40分に　でると、学校に　つくのは、なん時なん分でしょう。

（3）下の　とけいは、なん時なん分を　さして　いるでしょう。







（4）上の　まん中の　とけいが　20分　すすむと、なん時なん分に　なるでしょう。

（5）1日は、なん時間でしょう。

1時間は、なん分でしょう。

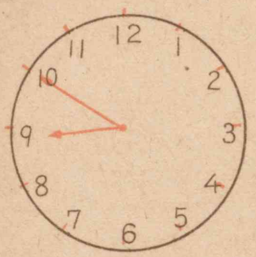
（6）つぎの　たしざんを　しなさい。

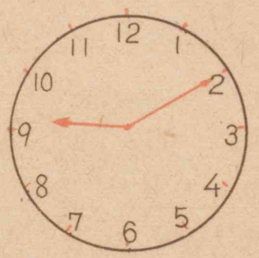
4 ＋3	8 ＋6	7 ＋9	16 ＋ 7	25 ＋ 8
30 ＋35	28 ＋40	43 ＋35	29 ＋56	46 ＋27
38 ＋24	49 ＋33	27 ＋45	24 ＋17	66 ＋26

（7）つぎの　ひきざんを　しなさい。

9 －6	10 － 7	11 － 9	13 － 4	28 －13
30 －24	50 －15	62 －27	73 －65	58 －37
64 －29	72 －36	91 －55	85 －36	53 －27

さんすうでの　ことば



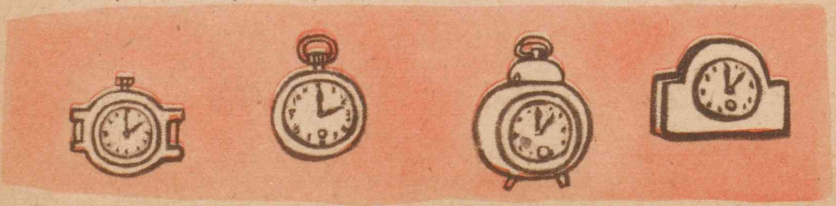


　上の　左の　とけいは、8時　50分を　さして　います。
8時　50分を、9時　10分まえと　いう　ことも　あります。

　右の　とけいは、9時　10分を　さして　います。9時　10分を、9時　10分すぎと　いう　ことも　あります。

　つぎは、なん時なん分まえと　いったら　よいでしょう。

　7時　45分　9時　55分　10時　40分



れんしゅう

（1）つぎの　たしざんを　しなさい。

7	6	40	50	21
＋2	＋9	＋30	＋37	＋48

36	47	64	58	39
＋14	＋38	＋28	＋33	＋56

（2）つぎの　ひきざんを　しなさい。

9	12	40	60	58
－3	－4	－7	－20	－13

85	94	77	82	60
－37	－49	－29	－38	－25

（3）つぎの　たしざん・ひきざんを　して、こたえを　たしかめなさい。

29	67	35	73	90
＋14	＋24	＋29	－26	－37

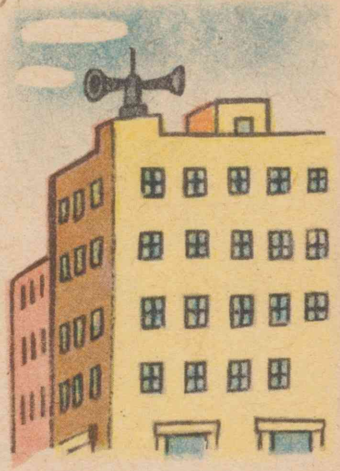
（４）とけいに　かきあらわしましょう。

７時 25分　　　　９時 40分

10時５分まえ　　　３時半

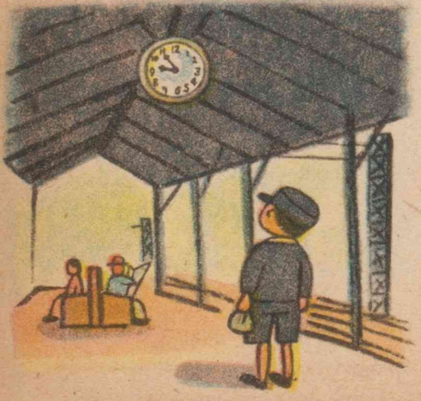
４時 50分　　　　６時15分まえ

（５）９時の　サイレンが　なったとき、ふみこさんの　家の　とけいは、８時 55分を　さして　いました。



なん分　おくれて　いるでしょう。

（６）まさおさんは、９時 15分に　はっしゃする　きしゃに　のろうと　思って、えきに　いきました。えきの　とけいは、９時５分まえでした。きしゃが　はっしゃするまで、なん分あるでしょう。



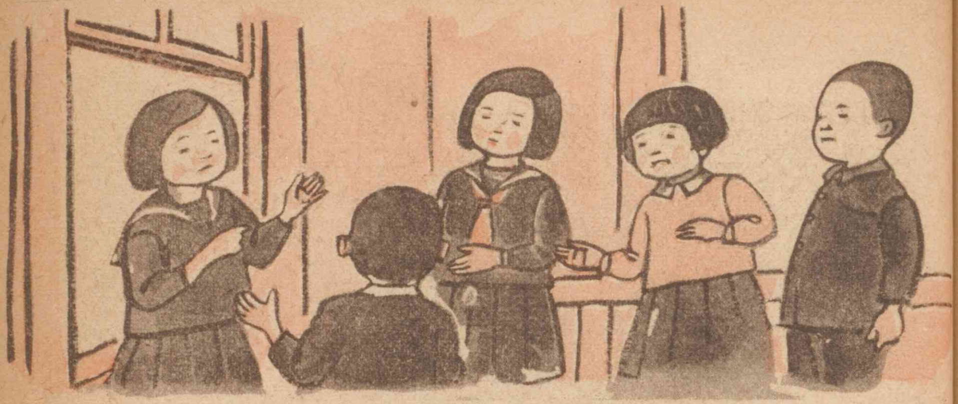
二　たんじょう日

かずこさんたちは、たんじょう日に　ついて、はなしあいを　して　います。

くみの　人の　たんじょう日を　表に　まとめて、みんなの　うまれた　月日が　はっきり　わかるように、かく　ことに　しました。

どんな　表に　かいたら　よいか、いろいろ　かんがえて　います。

くみの　人の　たんじょう日を　しらべて、表に　して　みましょう。



たんじょう日しらべ

かずこさんたちは、きょうも　げんきよく、学校へ　いきました。

かずこさんたちが、教室に　はいると、ふみこさんは　にこにこ　しながら、

「きょうは　わたくしの　たんじょう日です。」と、いいました。

かずこさんたちは、ふみこさんに　おいわいの　ことばを　いいました。

それから、みんなで　たんじょう日の　ことを、いろいろ　はなしあいました。

みんなの　たんじょう日を　しらべて　みようと　いう　いけんが　でました。

みんなの　たんじょう日を　こくばんに

かきだしました。

かずこさんたちは、こくばんに　かいた　たんじょう日を、月と　日が　一目で　わかるように　くふうして、表に　かきました。

（1）表は、月べつに　わけて、かく　ことに　しました。

表の　上の　ほうに、月を　かく　ことにしました。月を　かく　ところは、いくついるでしょう。

（2）日にちも、月月に　かかずに、表の　左の　ほうに、まとめて　かく　ことに　しました。

日にちを　かく　ところは、いくつ　つくったら　よいでしょう。

まい月の　日にちを　こよみで　しらべて、日にちの　1ばん　おおい　月は、なん月か　しらべます。1ばん　おおい　日にちに　あわせて　表に　かきます。

かずこさんたちは、ようい が　できたので、みんなの　なまえを　かきこんで　いきました。

日＼月	4	5	6	7	8
1					
2					
3		大月あきこ			
4	大田あきら				
5					
6					
7		花山あつこ			
8					
9					
10					
11					
12					
13		大川ふみこ			
14					
15					
16					
17		小山たけし			
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26	早川しんいち				
27					
28		村田しげこ			
29					
30					
31					

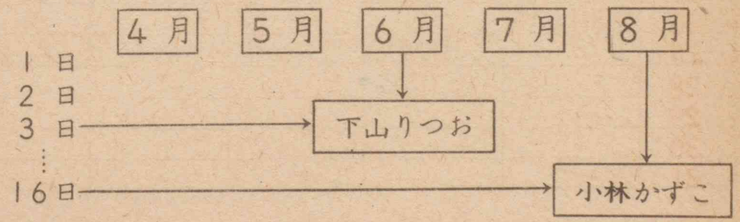
（1）4月は　30日まで　あります。31日に　あたる　ところに　ななめの　せんを　ひきました。ほかの　月も　おなじように　する　ことに　しました。

あとの　月は、どこに　せんを　ひいたら　よいでしょう。

（2）山下あけみさんの　たんじょう日は、8月13日、小川はるこさんの　たんじょう日は、7月3日です。表の　どこに　かきいれたら　よいでしょう。

（3）かずこさんの　はんの　人たちの　たんじょう日は、下の　とおりです。表の　どこに　かいたら　よいでしょう。

下山りつお……6月3日　　川北とよこ……7月15日
西田さちお……8月9日　　山口えつこ……9月30日
田中ふみお……2月13日　　小林かずこ……8月16日



1年は　12か月

1月	31日	大
2月	28日か29日	小
3月	31日	大
4月	30日	小
5月	31日	大
6月	30日	小
7月	31日	大
8月	31日	大
9月	30日	小
10月	31日	大
11月	30日	小
12月	31日	大

1年は　12か月です。

1月から　12月までの　日すうは左のように　なっています。

31日　ある　月を　大の　月と　います。その　ほかの　月を　小の　月と　いいます。

2月は　28日の年と　29日の　年が　あります。

ことしの　2月は、なん日　あったでしょう。

29日の　年は　4年に　1かいずつ　まわって　きます。

うまれ月

たんじょう日を　しらべた　かずこさんたちは、こんどは、なん月　うまれの　人が1ばん　おおいか、しらべる　ことに　しました。

たんじょう日の　表を　みながら、月のじゅんに　かきだしました。

四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月
○○	○○○○○○	○○○○	○○○○○○○	○○○○	○○○	○○○○○○	○○○	○○○	○○	○○○○	○○○○

（1）なん月うまれの　人が、1ばん　おおいでしょう。

おおい　月から、じゅんに　かきだして　みましょう。

（2）うまれた　人の　かずが、おなじ　月は　なん月と　なん月でしょう。

2人の月、3人の月と、じゅんに　しらべて　みましょう。

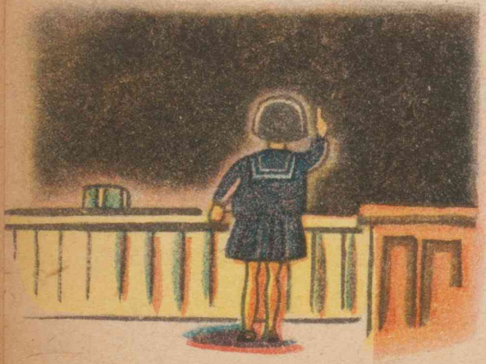
（3）くみの　人ずは　48人です。

表の　中の　人ずは、みんなで　48人に　なって　いるか　しらべましょう。

4月・1月は　2人ずつ　2＋2

9月・11月・12月は　3人ずつ　3＋3＋3

6月・8月・2月・3月は　4人ずつ　4＋4＋4＋4



ほかの　月も　上の　ように　かきだして、あとで　たしざんを　します。

3に　3を　たして　6、6に　3を　たして　9に　なります。

3を　3かい　たすと、9に　なります。

3を　4かい　たすと、いくつでしょう。

3を　5かい　たすと、いくつでしょう。

つぎの　たしざんを　しましょう。

$$\begin{array}{r}2\\2\\+2\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}3\\3\\+3\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}4\\4\\+4\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}5\\5\\+5\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}6\\6\\+6\\\hline\end{array}$$

$$\begin{array}{r}7\\7\\+7\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}8\\8\\+8\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}9\\9\\+9\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}2\\2\\2\\+2\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}3\\3\\3\\+3\\\hline\end{array}$$

4＋4＋4＋4　　6＋6＋6＋6＋6

5＋5＋5＋5　　7＋7＋7＋7＋7

たろうさん・はなこさん

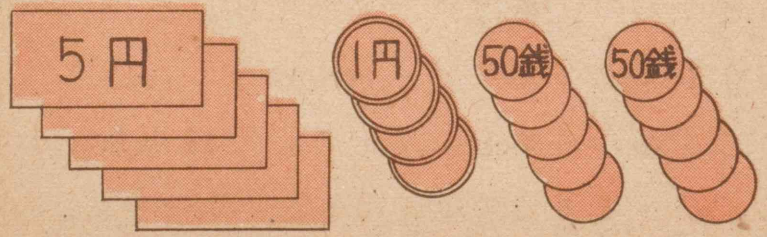
（１）たろうさんは、ちょきんばこを　つくって、４月 21日から　ちょきんを　しています。きょうは　５月 14日です。いくら　ちょきんを　したか、しらべて　みる　ことに　しました。

ちょきんを　はじめてから、いく日　たって　いるでしょう。

（２）たろうさんは　ちょきんばこを　あけて　みました。

５円の　おかねが　５まい、１円の　おかねが　４まい、　50銭の　おかねが　10まい　はいって　います。

みんなで　いくらでしょう。



（３）はなこさんも、ちょきんばこを　ひらいて、いくら　あるか　しらべて　みました。

10円の　おかねが　２まい、５円の　おかねが　１まい、１円の　おかねが　４まいありました。

みんなで　いくらに　なるでしょう。

（４）たろうさんと　はなこさんの　ちょきんを　くらべると、どちらが　どれだけ　おおいでしょう。

（５）たろうさんは、ちょきんして　いたおかねの　うちから　30円　もって、本をかいに　いきました。

どうわの　本は、27円です。５円の　しおりも　かいたいと　おもいました。

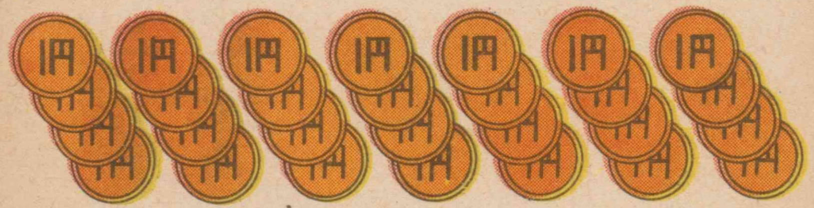
どうわの　本を　かって、しおりも　かうことが　できるでしょうか。

テスト

（1）しげるさんの　くみで、がようしの　おかねを　あつめる　ことに　なりました。

ひとりから　4円ずつ　あつめます。しげるさんは、6人ぶんの　おかねを　あつめています。

しげるさんの　あつめる　おかねは、いくらに　なれば　よいでしょう。



（2）はなこさんは、おともだちと　おり紙を　しょうと　して　います。

いろ紙は、16まい　あります。3人の　おともだちに、3まいずつ　わけると、あとに　なんまい　のこるでしょう。

（3）1年は　なんか月でしょう。

（4）ことしの　2月は、なん日まで　あったでしょう。

（5）どの月が　大の　月で、どの月が　小の　月でしょう。

（6）つぎの　たしざんや　ひきざんを　しなさい。

8	6	8	36	25
+5	+7	+9	+28	+16
29	11	13	48	86
−8	−6	−8	−25	−30
33	52	40	91	63
−18	−16	−28	−56	−25
5	8	9	7	6
5	8	9	8	8
+5	+8	+9	+9	+4

さんすうでの　ことば

すうじには　いろいろな　すうじが　あります。よみかたも　いろいろ　あります。

1	いち	一
2	に	二
3	さん	三
4	し	四
5	ご	五
6	ろく	六
7	しち	七
8	はち	八
9	く	九
10	じゅう	十
100	ひゃく	百

一つ	ひとつ
二つ	ふたつ
三つ	みっつ
四つ	よっつ
五つ	いつつ
六つ	むっつ
七つ	ななつ
八つ	やっつ
九つ	ここのつ
十	とお
百	ひゃく

452→よんひゃく　ごじゅう　に→四百五十二

353，600，208　などを一、十、百の　すうじで　かいて　みましょう。

れんしゅう

（1）つぎの　たしざんを　しなさい。

3 + 9	6 + 5	8 + 7	6 + 9	4 + 9
7 + 5	8 + 8	9 + 5	8 + 6	9 + 8
11 + 29	32 + 18	57 + 13	46 + 14	43 + 37
27 + 16	24 + 58	38 + 27	33 + 28	19 + 22
7 + 3 + 8	9 + 5 + 6	4 + 4 + 8	8 + 3 + 6	2 + 8 + 9

（2）つぎの　ひきざんを　しなさい。

13 − 3	15 − 5	18 − 7	16 − 8	13 − 5

31	28	54	83	92
−8	−9	−6	−5	−4

62	31	94	64	43
−24	−18	−25	−26	−28

53	83	56	77	64
−27	−39	−37	−49	−25

（3）つぎの　たしざん・ひきざんを　しなさい。

9＋8＋6　　9＋7−8　　15−7−6

7＋7＋8　　8＋6−9　　16−8−3

（4）かずこさんは、おはじきを　もっています。あかが　3こ、あおが　4こ、しろが　3こ、むらさきが　3こ、きが　2こです。その　ほかに、みどりが　まだ　5こあります。

おはじきは、みんなで　いくつ　あるでしょう。

三　かいもの

しんいちさんは　いま、かいものに　いくところです。

どんな　しなものを　どれだけ　かうのか　かんがえて、おかねを　しらべて　います。

かいものを　する　ときには、しなものの　ねだんと　かずを　かんがえて、どれだけ　おかねが　いるかを、けいさんしなくては　なりません。

かいものを　する　ときの　けいさんは、どのように　したら　よいでしょう。

はがき

しんいちさんは、ゆうびんきょくへ　はがきを　かいに　いきました。

はがきは、１まい　２円です。しんいちさんは、２まいでは　いくら、３まいでは　いくらと、つぎつぎに　しらべて　います。

（１）はがき　６まいの　ねだんは　いくらに　なるでしょう。

１まいでは		２円
２まいでは	２＋２で	４円
３まいでは	２＋２＋２で	６円
４まいでは	２＋２＋２＋２で	８円
５まいでは	２＋２＋２＋２＋２で	10円
６まいでは	２＋２＋２＋２＋２＋２で	12円

（２）７まい、８まい、９まいの　ねだんについても、かんがえて　みました。２円ずつふえて　いく　ことが　わかったので、すぐこたえを　だす　ことが　できました。

いくらに　なれば　よいでしょう。

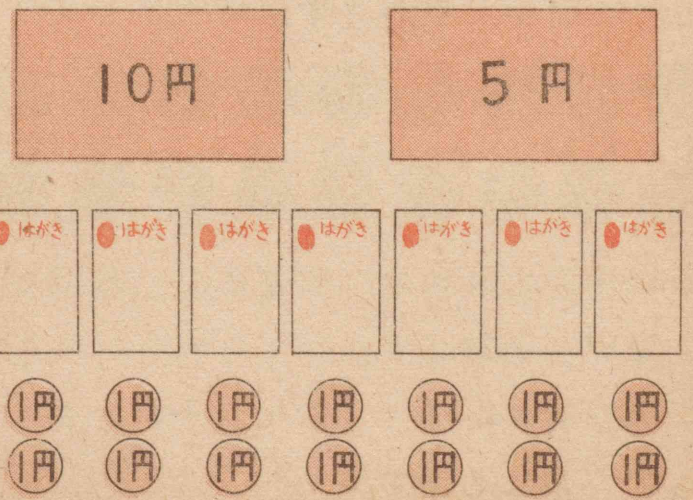
２を　七つ　よせると　いくつでしょう。

２を　八つ　よせると　いくつでしょう。

２を　九つ　よせると　いくつでしょう。

（３）しんいちさんは、はがきを　７まいかいました。おかねを　15円　だしました。

おつりは　いくらでしょう。



二の　だんの　九九

２円の　はがき　７まいの　ねだんを　だすには、つぎのような　たしざんを　します。

$$2+2+2+2+2+2+2=14$$

はがきを　うる　みせの　まえで、こんな　たしざんを　して　いては、たいへん　めんどうです。

２を　７かい　よせたら　14に　なる　ことを　おぼえて　おいたら、いつでも　つかう　ことが　できます。

２を　７かい　よせる　ことを、２を　７ばい　すると　いいます。かんたんに　２×７と　かいて、「２かける７」と　よみます。

それで、２×７の　こたえを　おぼえると　よい　わけです。

２×７＝14　を　「二七（にしち）、十四」と　いって　おぼえます。

２円の　はがき　８まいの　ねだんを　だすには、２を　８ばい　しなくては　なりません。

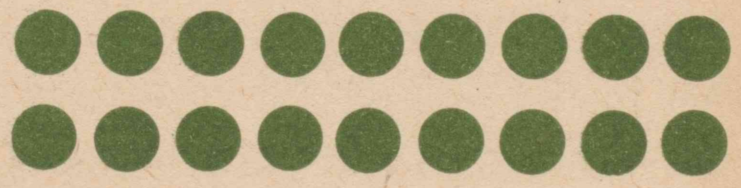
２の　８ばいは、２×７＝14の　14に　２を　たして、16です。

これを「二八（にはち）、十六」と　おぼえます。

２円の　はがき　９まいの　ねだんを　だすには、２を　９ばい　しなくては　なりません。

２の　９ばいは、２×８＝16の　16に　２を　たして、18です。

これを　「二九（にく）、十八」と　おぼえます。



２の　２ばい、２の　３ばい、２の　４ばい、２の　５ばい、２の　６ばい　なども、たしざんを　して　こたえを　おぼえて　おくと、いつでも　つかえます。

2の　2ばいから、2の　9ばいまでを表に　まとめると、つぎのように　なります。

2×2＝4	二二（ににん）が、	四
2×3＝6	二三が、	六
2×4＝8	二四が、	八
2×5＝10	二五、	十
2×6＝12	二六、	十二
2×7＝14	二七、	十四
2×8＝16	二八、	十六
2×9＝18	二九、	十八

これを　「二の　だんの　九九」と　いいます。

九九を　つかって、かずを　なんばいかした　こたえを　だす　ことを　**かけざん**と　いいます。かけざんは、

2×7＝14

のように　かく　ばかりで　なく　右のようにも　かきます。

$$\begin{array}{r} 2 \\ \times\ 7 \\ \hline 14 \end{array}$$

おもちゃや

しんいちさんの　うちへ　しんるいの　かずおさんが　あそびに　きました。

かずおさんは、しんいちさんの　おとうとと　おなじ　としです。ふたりで、たのしそうに　あそんで　います。

しんいちさんは、おかあさんの　おつかいで、おとうとと　かずおさんに　紙ふうせんと　ぬりえを　かいに　いきました。

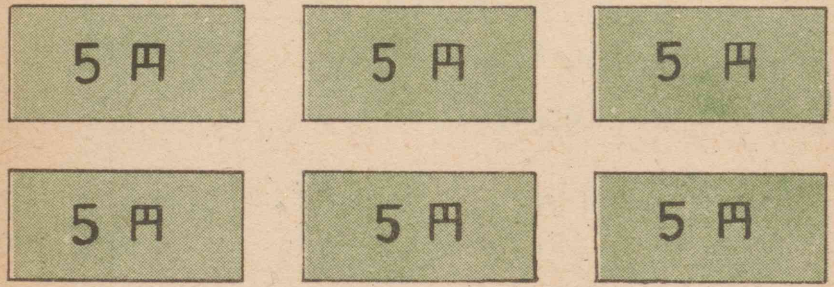
（1）1ふくろ　4円の　ぬりえを　4ふくろ　かう　ことに　しました。

みんなで　いくらに　なるでしょう。

4の　2ばいは　8です。
4の　3ばいは　12です。
4の　4ばいは　いくらでしょう。

（2）こんどは　1こ　5円の　紙ふうせんを　6こ　かいました。

いくらに　なるでしょう。



（3）紙ふうせんと　ぬりえで、いくら　はらえば　よいでしょう。

4円の　ぬりえ　4ふくろの　おかねと、
5円の　紙ふうせん　6この　おかねと
を　たします。

（4）50円　だすと　おつりは、いくら　くるでしょう。

四の　だんの　九九

4の　2ばいは、4＋4＝8　で、8です。
4の　3ばいは、8＋4＝12　で、12です。

このように　して、2ばいから　9ばいまでを　だすと、四の　だんの　九九が　できます。

4×2＝ 8	四二　が、　八
4×3＝12	四三、　十二
4×4＝16	四四、　十六
4×5＝20	四五、　二十
4×6＝24	四六、　二十四
4×7＝28	四七、　二十八
4×8＝32	四八、　三十二
4×9＝36	四九、　三十六

2×4	4×7	2×7	4×6
4×9	2×5	4×5	2×9
2×6	4×8	2×8	4×4

五の　だんの　九九

五の　だんの　九九を　つくりましょう。

5ずつ　たして　いくと　できます。

九九は、ただ　おぼえるだけで　なく、どう　して　できて　いるか　かんがえる　ことが　たいせつです。

5×2＝10	五二、　十
5×3＝15	五三、十　五
5×4＝20	五四、二　十
5×5＝25	五五、二十五
5×6＝30	五六、三　十
5×7＝35	五七、三十五
5×8＝40	五八、四　十
5×9＝45	五九、四十五

2×2	5×7	5×3	2×9
4×3	4×8	2×8	5×5
5×8	2×3	5×6	4×2

お　か　し　や

しんいちさんは、おかあさんの　おつかいで、おかしを　かいに　いきました。

1まい　3円の　せんべいと、1こ　6円の　まんじゅうを　かう　ことに　しました。

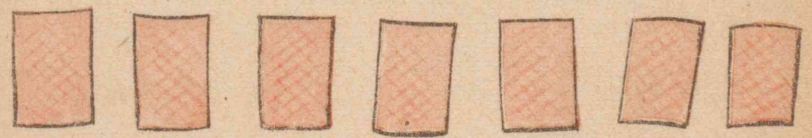
(1) 3円の　せんべいを　7まい　かいました。いくら　はらえば　よいでしょう。

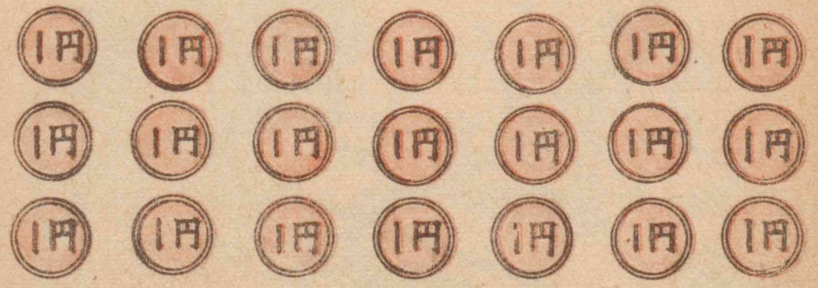
2まいでは、いくらでしょう。

3まいでは、いくらでしょう。

4まいでは、いくらでしょう。

7まいでは、いくらでしょう。





6円　6円　6円　6円　6円

（2）1こ　6円の　まんじゅうを　5こ　かいました。いくら　はらえば　よいでしょう。

六の　だんの　九九を　つくって、しらべて　みましょう。

6×2＝□　6×3＝□

6×4＝□　6×5＝□

（3）せんべいと　まんじゅうでは、みんなで　いくら　はらえば　よいでしょう。

三の　だんの　九九

三の　だんの　九九を　つくりましょう。いくつずつ　ふえて　いくでしょう。

九九を　いう　ときに、「が」の　つくのは　どんな　ときでしょう。いままでに　つくった　九九で　かんがえましょう。

3×2＝ 6	三二　が、	六
3×3＝ 9	三三　が、	九
3×4＝12	三四、	十二
3×5＝15	三五、	十五
3×6＝18	三六、	十八
3×7＝21	三七、	二十一
3×8＝24	三八、	二十四
3×9＝27	三九、	二十七

5×4	4×7	5×2	3×9
3×7	5×3	3×8	4×5
4×8	3×6	2×6	2×7

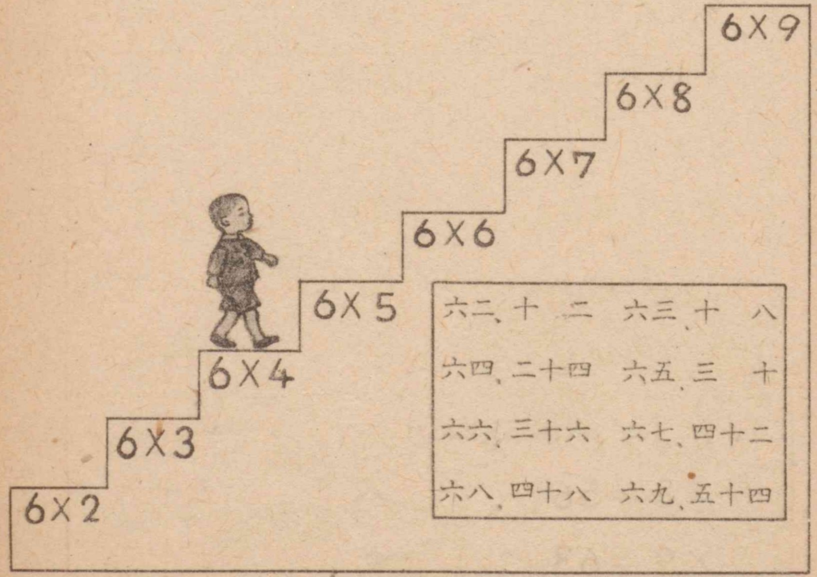
六の　だんの　九九

六の　だんの　九九を　つくりましょう。

九九は　かいだんのような　ものです。

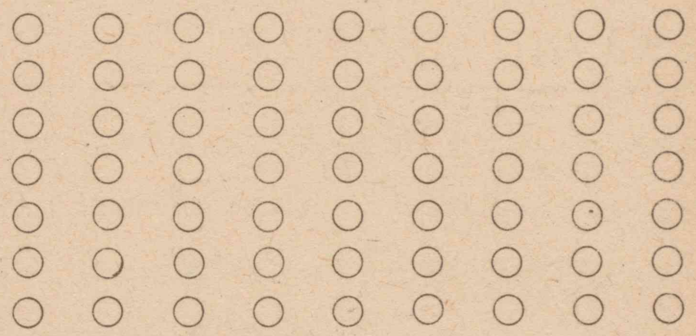
「六四、二十四」のところに　たちましょう。「六五、三十」は　一だん　上の　かいだんです。「六三、十八」は　一だん　下の　かいだんです。

おりる　ことも　のぼる　ことも　できるように　れんしゅうしましょう。



かけざん　九九

しんいちさんは、七の　だんの　九九についても、しらべて　みる　ことに　しました。



7の　2ばいは　14に　なります。

しんいちさんは、14に　7ずつ　たして、七の　だんの　九九を　つくりました。

7×2＝14	七二、	十四
7×3＝21	七三、	二十一
7×4＝28	七四、	二十八
7×5＝35	七五、	三十五
7×6＝42	七六、	四十二
7×7＝49	七七、	四十九
7×8＝56	七八、	五十六
7×9＝63	七九、	六十三

七の　だんの　九九を　かきあげた　しんいちさんは、つづいて　八の　だん、九の　だんの　九九に　ついても　しらべて　表に　かきました。

8×2＝16	八二、十　六	9×2＝18	九二、十　八
8×3＝24	八三、二十四	9×3＝27	九三、二十七
8×4＝32	八四、三十二	9×4＝36	九四、三十六
8×5＝40	八五、四　十	9×5＝45	九五、四十五
8×6＝48	八六、四十八	9×6＝54	九六、五十四
8×7＝56	八七、五十六	9×7＝63	九七、六十三
8×8＝64	八八（はっぱ）、六十四	9×8＝72	九八、七十二
8×9＝72	八九、七十二	9×9＝81	九九、八十一

ぜんぶの　九九が　できたので、しんいちさんは、かけざん九九に　ついて、いろいろ　かんがえて　みました。

それから、まちがいなく　いえるように、なんかいも　れんしゅうしました。

（1）しんいちさんは、九九を　つくって　いるうちに、どの　だんの　九九も　2から　はじまって　いる　ことに　気が　つきました。

7×2　は　14です。

7×1　は　いくつでしょう。

（2）7×1の　こたえが　わかった　しんいちさんは、7×0に　ついて　かんがえて　みました。

こたえは　いくつに　なるでしょう。

（3）しんいちさんは、9×7、8×7、7×7、6×7、5×7、4×7、3×7、2×7の　こたえが、どのように　かわって　いくか　しらべて　みました。

どんなに　かわるでしょう。

1×7は　いくつに　なるでしょう。

0×7は　いくつに　なるでしょう。

（4）しんいちさんは、九九の　れんしゅうを　して　いました。

「八五、四十」　まで　いって　その　つぎが　いわれなく　なりました。

このような　ときには、どうしたら　よいでしょう。

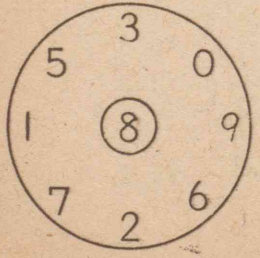
八四、三十二 → 八五、四十 → ？

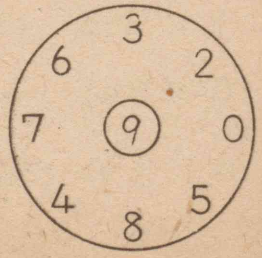
（5）しんいちさんは、こたえが　おなじに　なる　九九が　いくつも　ある　ことに、気が　つきました。12，24，36，27に　なる　九九を　じゅんに　しらべて　みました。

どのような　九九が　あるでしょう。

（6）まん中の　かずと　まわりの　かずを　かけて、九九の　れんしゅうを　しました。

どのように　したら　よいでしょう。





こたえの　おなじ　九九

こたえの　おなじに　なる　九九に　ついて　しらべて　みましょう。

こたえが　24に　なる　九九には、

3×8、8×3、4×6、6×4

があります。

この　ほかにも、九九の　中には、こたえの　おなじに　なる　九九が　あります。

12	36	27
2×6	4×9	3×9
6×2	9×4	9×3
3×4	6×6	
4×3		

2×6は　6×2と　おなじに　なります。

3×9は　9×3と　おなじに　なります。

このように、かずを　はんたいに　して　かけても、こたえは　おなじに　なる　ことが　わかります。

右の　ずで　その　わけを　かんがえて　みましょう。

右の　ずでは、まるの　かずは、いくつ　あるでしょう。

○○○○○○○○○
○○○○○○○○○
○○○○○○○○○
○○○○○○○○○

まるは、たてに　四つずつ　ならんで　います。れつが　9れつ　あるから、つぎのように　して　けいさんします。

$$4 \times 9 = 36$$

まるは　また、よこに　九つずつ　ならんで　いると　かんがえる　ことが　できます。

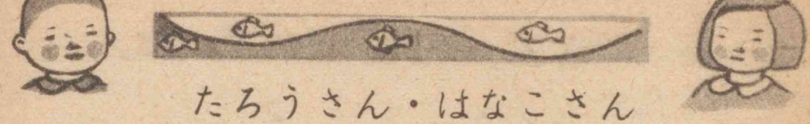
この　ときには、九つずつ　4れつ　あるから、まるの　かずは

$$9 \times 4 = 36$$

と　なります。

どちらの　しかたでも、こたえは　36です。

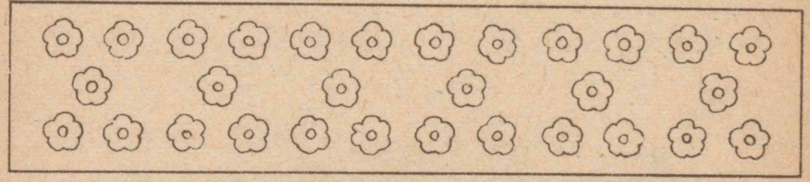
32，　48，　72，　30　に　なる　九九を　しらべましょう。



たろうさん・はなこさん

（1）はなこさんは、おともだち　5人と　おはじきあそびを　しました。

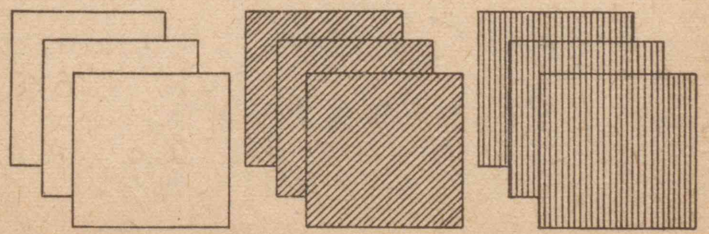
五つずつ　だしあって　はじめる　ことに　なりました。だした　おはじきは、みんなで　いくつに　なるでしょう。



（2）おともだちは　3人　かえりました。

おはじきを　やめて　おり紙を　する　ことに　しました。のこった　人に、3まいずつ　いろ紙を　わけようと　して、います。

なんまい　いるでしょう。



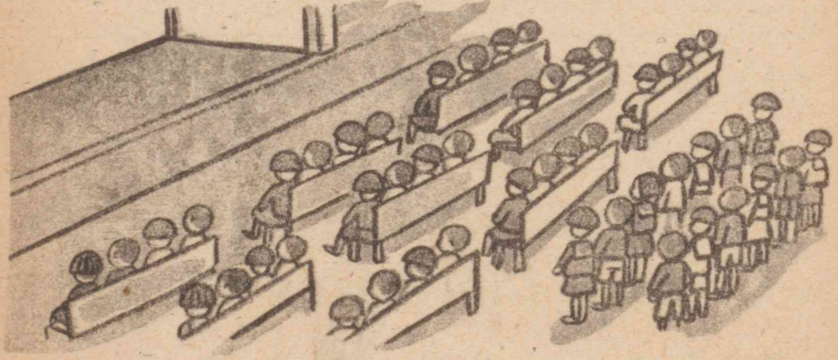
（3）たろうさんたちは、こうどうで　おはなしかいを　する　ことに　なりました。

こうどうには、4人ずつ　かけられる　こしかけが、九つ　ならんで　います。

みんなで　なん人　かけられるでしょう。

（4）たろうさんたちの　くみは、49人　います。

こしかけられない　人は、なん人　いるでしょう。



（5）一つの　こしかけに、5人ずつ　こしかけると　したら、九つの　こしかけには、なん人　こしかけられるでしょう。

49人の　うち、こしかけられない　人は　なん人　いるでしょう。

テスト

（1）しげこさんは、おかあさんの　おつかいで、かいものに　いく　ことに　なりました。おかあさんは、5円の　おかねを　8まい　わたされました。おかねは、みんなで　いくらでしょう。

（2）たかこさんたちが、6人ずつ　くみに　なって、ゆうぎを　して　います。

くみは、8くみ　あります。

みんなで、なん人　いるでしょう。

（3）ときおさんは、5円の　えんぴつを　6本　かいました。

いくらに　なるでしょう。

（4）右の　まるは
いくつでしょう。
　どうして　しらべたら　よいでしょう。

○○○○○○
○○○○○○
○○○○○○
○○○○○○

（5）下の　かずに　なる　九九を　いいなさい。

　81，48，72，30，56

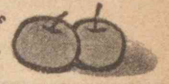
（6）つぎの　かけざんを　しなさい。

3×6	4×9	5×6	3×8
4×8	6×7	8×2	4×7
6×6	3×9	4×6	6×9
5×7	6×8	3×7	4×5

9	8	7	8	7	9
×6	×8	×9	×6	×7	×9

1	4	8	7	7	4
×4	×3	×4	×0	×3	×4

さんすうでの　ことば



　けいさんには、たしざんや　ひきざんの　ほかに、かけざんも　あります。

　たしざんを　あらわす　しるしは、どんな　しるしでしょう。

　ひきざんを　あらわす　しるしは、どんな　しるしでしょう。

　かけざんを　あらわす　しるしは、どんな　しるしでしょう。

　けいさんを　する　ときには、しるしを　よく　みてから、どの　けいさんを　したら　よいか　かんがえます。

● 下の　けいさんを　しなさい。

5	8	11	21	12
＋8	×6	－8	－8	＋5

9	3	9	13	7
×3	×8	＋8	－8	×7

れんしゅう

（1）つぎの　けいさんを　しなさい。

6 +5	4 +8	9 +2	7 +5	5 +0
12 − 8	13 − 5	18 − 9	14 − 8	16 − 7
51 −30	63 −20	54 −40	88 −80	73 −20
81 −21	66 −56	83 −23	48 −38	92 −60
8 +47	7 +85	9 +63	7 +26	5 +39
29 +39	28 +35	26 +37	38 +14	67 +25
73 −16	95 −36	63 −29	93 −77	81 −13

（2）つぎの　かけざんを　しなさい。

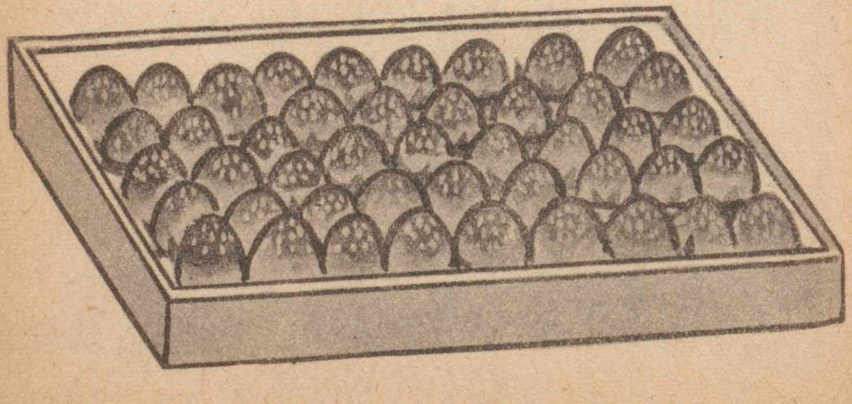
3 ×9	4 ×7	5 ×5	6 ×4	7 ×6	8 ×8	9 ×3	3 ×5
4 ×3	5 ×6	7 ×4	6 ×5	8 ×2	9 ×6	8 ×9	3 ×3
4 ×4	6 ×3	7 ×7	9 ×9	2 ×4	3 ×2	4 ×6	5 ×4
5 ×7	6 ×9	7 ×8	8 ×4	2 ×8	3 ×7	9 ×5	6 ×6
8 ×3	5 ×8	6 ×7	7 ×5	5 ×9	4 ×8	5 ×2	6 ×8
8 ×5	9 ×2	2 ×2	3 ×4	4 ×5	7 ×9	9 ×8	2 ×3
2 ×9	6 ×2	7 ×3	8 ×7	9 ×4	2 ×5	4 ×2	5 ×3
7 ×2	3 ×6	2 ×6	4 ×9	3 ×8	2 ×7	8 ×6	9 ×7

（3）つぎの　かけざんを　しなさい。

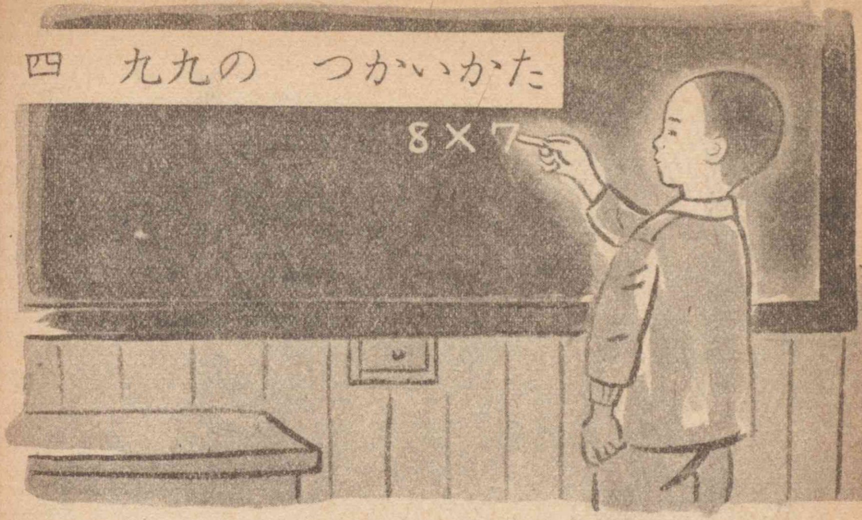
3×9	7×6	5×9	1×8
9×4	3×1	4×7	9×6
0×4	6×9	7×9	4×8
9×3	8×0	8×9	1×2
7×8	6×7	9×8	8×6
6×1	6×4	9×7	3×0
8×7	7×4	0×9	1×9

（4）くだものやの　みせさきに、はこに　つめた　いちごが　ならべて　あります。

たてに　9こずつ、よこに　5こずつ　はいって　います。みんなで　いくつ　はいって　いるでしょう。



四　九九の　つかいかた



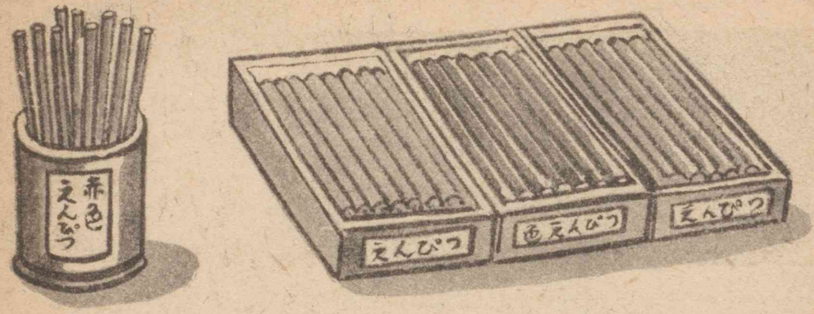
かけざん九九は、いろいろな　ときに　つかわれます。

しんいちさんは、どんな　ときに　かけざん九九が　つかわれるか、かんがえて　います。

ものの　ねだんと　かずが　わかって　いるとき、ぜんたいの　ねだんを　だすのに　九九を　つかいます。

おなじ　かずずつに　して　ならべて　ある　ものが、みんなで　いくつ　あるかを　しらべるにも、九九を　つかいます。

九九を　つかう　ときを、いろいろ　かんがえて　みましょう。



かいものの　かずと　ねだん

しんいちさんは、かいものの　かずと　ねだんに　ついて　くわしく　しらべて　みました。

（１）１本　５円の　えんぴつ　２本では、いくらでしょう。

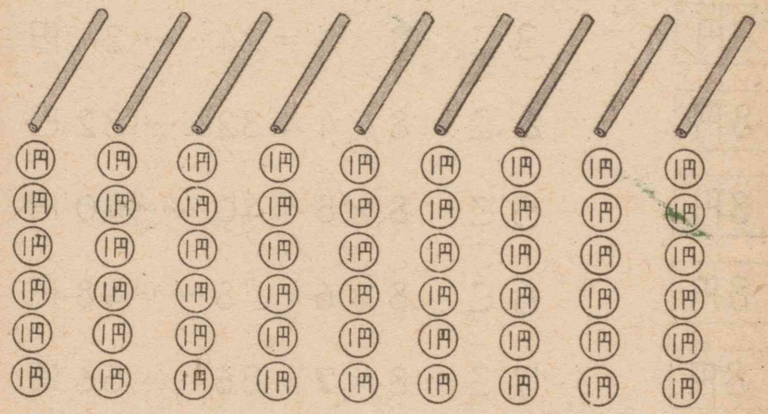
３本では　いくらでしょう。４本、５本、６本と　えんぴつの　かずを　おおくして　いくと、おかねは　どのように　ふえて　いくでしょう。

5 5　5 5 5　5 5 5 5

5 5 5 5 5　5 5 5 5 5 5

（２）１本　６円の　えんぴつ　２本では、いくらでしょう。

３本では、いくらでしょう。４本、５本、６本と　えんぴつの　かずを　おおくして　いくと、おかねは　どのように　ふえて　いくでしょう。



（３）１こ　８円の　おかしを　かう　ときは、おかしの　かずが　ふえると、おかねは　どのように　ふえて　いくでしょう。

8 ＋ 8 ＋ 8 ＋ 8 ＋ 8 ＋ 8 ＋ 8

かずと　ねだん

一つの ねだん	おかしの かず		ぜんたいの ねだん
8円	1こ	$8 \times 1 = 8$	8円
8円	2こ	$8 \times 2 = 16$	16円
8円	3こ	$8 \times 3 = 24$	24円
8円	4こ	$8 \times 4 = 32$	32円
8円	5こ	$8 \times 5 = 40$	40円
8円	6こ	$8 \times 6 = 48$	48円
8円	7こ	$8 \times 7 = 56$	56円

おかしの　かずが、1こずつ　ふえて　いくと、ねだんは　8円ずつ　おおく　なります。おかし　一つの　ねだんが　わかって　いて、おかしの　かずが　わかると、かけざんで　おかし　ぜんたいの　ねだんが　わかります。

しんいちさんは、こんどは　おかねが　きまって　いる　ときの　かいものに　ついて、かんがえました。

40円、20円、10円に　わけて　かんがえて　います。

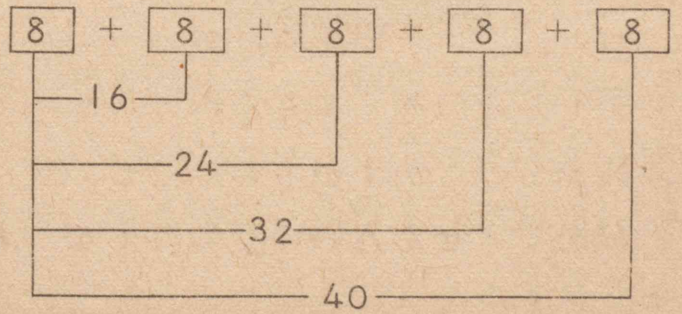
10円　10円　10円　10円

（1）40円で、1まい　8円の　きってが　なんまい　かえるでしょう。

$$8 \times \square = 40$$

8円の　なんばいが　40円でしょう。

八の　だんの　九九を　しらべましょう。



（2）　40円で、5円の　えんぴつが　なん本　かえるでしょう。

10円　10円

（3）　20円で、4円の　きってが　なんまい　かえるでしょう。

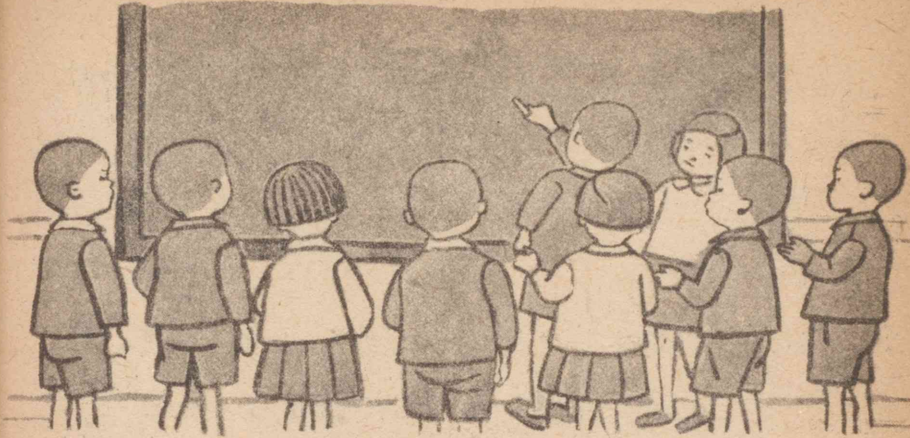
（4）　20円で、5円の　えんぴつが　なん本　かえるでしょう。

（5）　20円で、2円の　はがきが　なんまい　かえるでしょう。

10円

（6）　10円で、5円の　えんぴつが　なん本　かえるでしょう。

（7）　10円で、2円の　はがきが　なんまい　かえるでしょう。



くみの　つくりかた

しんいちさんは、くみの　人ずを　おなじかずずつ　わける　わけかたに　ついて、かんがえて　みました。

（1）くみの　人ずは、48人です。おなじ人ずずつの　くみを　6くみ　つくるには、なん人ずつに　わけたら　よいでしょう。

$$\square \times 6 = 48$$

□の　中に、ちょうど　あてはまる　かずを　みつけます。

その　かずを　みつけるには、六の　だんの　九九を　しらべて　みれば　わかります。

（2） 48人を　6人ずつの　くみに　わけると、いくくみ　できるでしょう。

6 × □ = 48

やはり　六の　だんの　九九を　つかって、□の　中に、ちょうど　あてはまる　かずを　みつけます。

（3） 48人の　中で、男が　24人　います。男を　8人ずつの　くみに　すると、いくくみ　できるでしょう。

（4） 女は　なん人　いるでしょう。

（5） 女を　4くみに　わけると、ひとくみは　なん人に　なるでしょう。

48 ＜ 24 ＝ 8 × □
　　 24 ＝ □ × 4

やはり　八の　だんと　四の　だんの　九九を　しらべて、□に　ちょうど　あてはまる　かずを　さがします。

□ × 6 ＝ 48　9 × □ ＝ 54

□の　中に、ちょうど　あてはまる　かずを　みつけるには、どう　したら　よいでしょう。

□ × 6 ＝ 48

□の　6ばいが　48に　なる　ことを　あらわして　います。

はじめに、六のだんで　48に　なりそうな　九九を　いって　みます。48より　おおくなったら、一つ　下の　九九を　いって　みます。すくなかったら、一つ　上の　九九を　いって　みます。

9 × □ ＝ 54

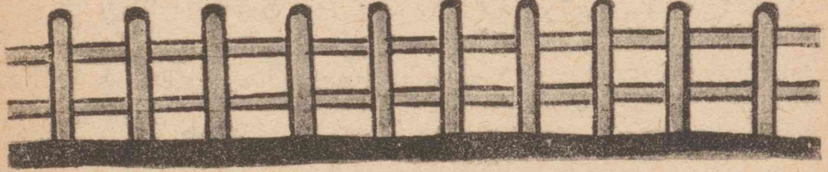
9の、なんばいかが　54に　なる　ことを　あらわして　います。

九五、四十五」では　すくなく　なります。一つ　上の「九六、五十四」を　いって　みると、ちょうど　よく　なります。

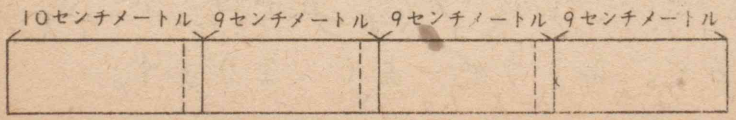
たろうさん・はなこさん

（１）たろうさんの　家の　まわりに、木のくいが　あります。２メートルおきに、１０本　ならんで　います。

はしから　はしまで、なんメートルに　なるでしょう。



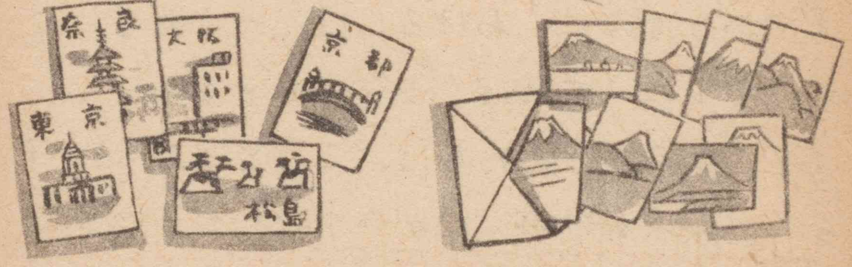
（２）はなこさんが　紙を　４まい　つないで　います。紙の　はばは、１０センチメートルです。のりを　つけて、かさねる　ところを　１センチメートルずつに　して　います。できあがった　紙の　長さは、なんセンチメートルに　なるでしょう。



（３）おじさんから、えはがきを　６ふくろおくって　きました。

たろうさんが　しらべて　みると、どのふくろにも　８まいずつ　はいって　います。

えはがきは、みんなで　なんまいでしょう。



（４）えはがきと　いっしょに、えんぴつを２ダース　おくって　きました。

たろうさんは、いもうとや　おとうとと、なかよく　わけようと　して　います。ひとりに　なん本ずつ　わけたら　よいでしょう。

（５）たろうさんは、学校へ　えはがきを２４まい　もって　いきました。てんじばんに　はろうと　して　います。

１だんに　８まいずつ　はると、なんだんに　なるでしょう。

テスト

（1）しげこさんたちは、そうじの　くみわけを　して　います。

くみの　せいとは、みんなで　42人　います。6くみに　わけるには、一くみを　なん人ずつに　すれば　よいでしょう。

（2）ひろおさんたちは、こうどうに　はいって、4人がけの　ながいすに　つぎつぎに　こしかけて　います。9この　いすに　こしかけました。

せいとの　かずは　みんなで　なん人でしょう。

（3）しげこさんが、がようしで　カードを　56まい　つくろうと　して　います。

1まいの　がようしから　8まい　できます。

がようしは、なんまい　いるでしょう。

（4）つぎの　かけざんを　しなさい。

9 ×9	6 ×6	4 ×4	3 ×6	8 ×3	3 ×9
5 ×3	7 ×4	7 ×7	4 ×5	8 ×4	5 ×6

（5）つぎの　□の　中に、ちょうど　あてはまる　かずを　いれなさい。

7×□＝28	9×□＝27	6×□＝48
6×□＝30	8×□＝24	2×□＝14
8×□＝48	4×□＝16	9×□＝54
7×□＝63	9×□＝36	9×□＝63

□×7＝56	□×9＝54	□×4＝36
□×8＝40	□×7＝35	□×2＝18
□×6＝42	□×4＝20	□×9＝27
□×3＝21	□×9＝81	□×8＝56

さんすうでの　ことば

6の　5ばいは　いくつでしょう。

6を　5ばいすると　いくつでしょう。

上の　もんだいは、どちらも　6×5　が　いくつに　なるかを　しらべる　もんだいです。

7×8も、おなじように　かんがえて、

7の　8ばい、　7を　8ばいする

と、いいかえる　ことが　できます。

つぎの　□の　中に、ことばを　いれましょう。

（1）8の　3ばいは　□です。

（2）□ばい　すると　40に　なるかずは　8です

（3）7を　□と　63に　なります。

れんしゅう

（1）つぎの　けいさんを　しなさい。

10 +20	50 +40	80 −50	70 −20	60 −40
35 +20	63 +30	49 −20	57 −30	93 −60
8 +37	9 +49	46 − 9	42 − 8	90 − 9
53 +29	38 +59	62 −48	75 −27	95 −66
7 6 +2	3 4 +5	8 3 +2	5 7 +6	6 6 +6

20＋10＋3　50＋40＋3　80－40＋5

40－20＋3　80－20－7　90－30－8

（2）つぎの　かけざんを　しなさい。

2×9	6×6	7×8	6×2
3×8	5×7	8×8	5×3
4×7	4×8	9×7	4×4
5×6	3×9	2×4	3×5

（3）□の　中に　ちょうど　あてはまる　かずを　いれなさい。

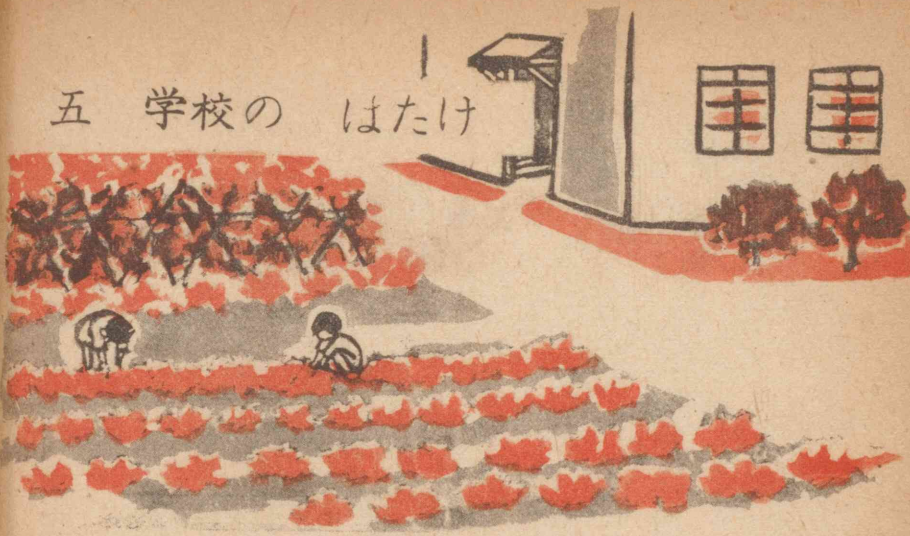
3×□＝21	7×□＝35	6×□＝18
9×□＝27	7×□＝49	4×□＝28
□×3＝24	□×9＝81	□×8＝56
□×4＝12	□×4＝28	□×6＝36

（4）しげこさんの　いえの　田うえです。しげこさんは、なえはこびの　おてつだいを　して　います。

なえが　あと　36たば　のこって　います。しげこさんは、6たばずつ　はこぶ　ことに　しました。

なんかいで　はこびおわるでしょう。

五　学校の　はたけ



学校の　はたけには、いろいろな　やさいが　うえて　あります。

なすも　きゅうりも　大きく　なって、もう　みが　なって　います。しんいちさんは、見るたびに　大きく　なって　いるのに　おどろきました。

しんいちさんは、一日一日　どのように、大きく　なって　いくか、しらべて　みたいと　思いました。

なすや　きゅうりの　のびて　いく　ようすを　しらべるには、どのように　したら　よいでしょう。

きゅうりばたけ

しんいちさんは、きゅうりが　のびて　いくのを　しらべるには、どのように　したら　よいか、かんがえて　います。

しんいちさんは、まい日　時間を　きめて、はかる　ことに　しました。

しんいちさんは、花が　おちたばかりの　きゅうりを　一つ　さがして、その　つるに　しるしを　つけて　おきました。

それから、まい日　おひるの　時間に　長さを　はかって、ちょうめんに　かきとめて　います。

（1）きゅうりの　長さは、どれだけ　あるでしょう。

（2）7月9日には　12センチメートル、7月 10日には　17センチメートル、7月11日には　23センチメートル、7月 12日には　25センチ　ートル、7月 13日には　27センチメートル、7月14日には　29センチメートル、7月15日には　32センチメートル　ありました。

表に　したら、どのように　なるでしょう。

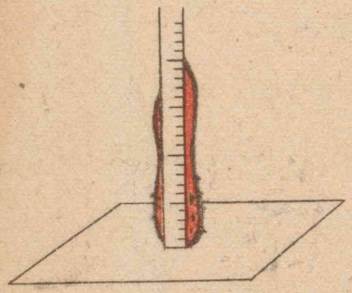
センチメートルを　「cm」とも　かきます。

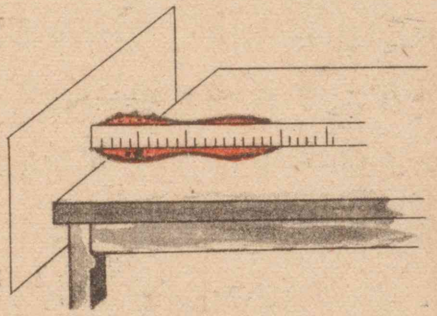
cm

（3）7月9日から　7月 15日までに、どれだけ　のびたでしょう。

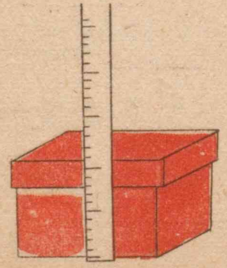
きゅうりの　はかりかた

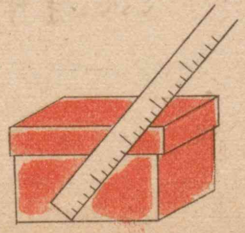
きゅうりの　長さを　はかるには、したじきのような　ひらたいものを　下に　あてて、それに、ものさしを　まっすぐに　たててはかると　じょうずに　はかれます。



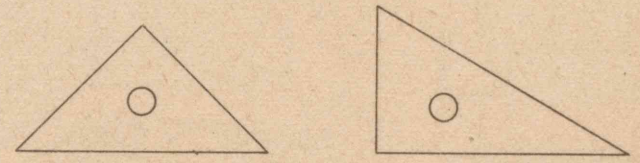


はこの　高さを　はかる　ときにも、おいて　ある　だいの　上に、ものさしを　まっすぐに　あてて、ななめに　ならないように、はからなくては　なりません。

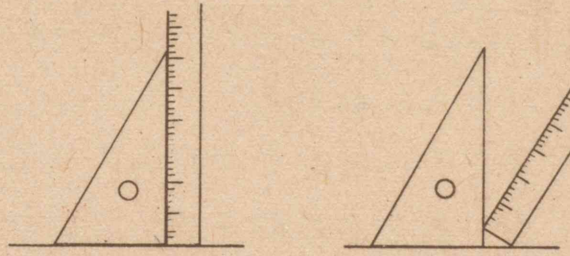




ものさしが、だいの　上に　きちんと　たって　いるか　どうかを　しらべるには、三かくじょうぎを　つかいます。



三かくじょうぎの　かどを、下の　ずのように　あてると、ものさしが　きちんと　たって　いるか　いないかが　わかります。



右のように　なって　いるかどを、ちょっかくに　なっていると　いいます。

ちょっかくに　なって　いる　ものを　みつけましょう。

えグラフ

しんいちさんは、きゅうりの　のびぐあいを　ずに　かきあらわして　みようと　思いました。

きゅうりの　のびかたが　よく　わかるように、いろいろ　くふう　しました。

（１）しんいちさんは、がようしに　かく　ことに　しました。

がようしの　たての　長さは　25㎝、よこの　長さは　36㎝　あります。

どちらが　どれだけ　長いでしょう。

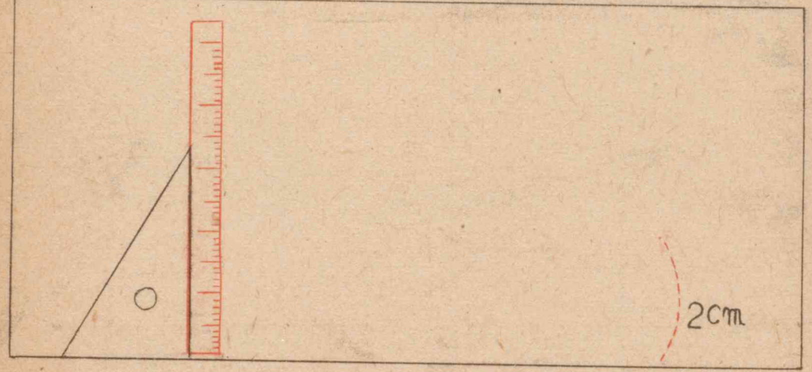
（２）しんいちさんは、がようしに　長しかくの　わくを　つくって、その　中に　きゅうりの　えを　かこうと　思いました。

１日の　ところの　よこはばを　４㎝ずつに　とると、わくの　よこはばは　どれだけに　なるでしょう。

（３）がようしの　左の　ふちから　わくまでの　あいだを　４㎝に　すると、右の　ほうは、どれだけ　あくでしょう。

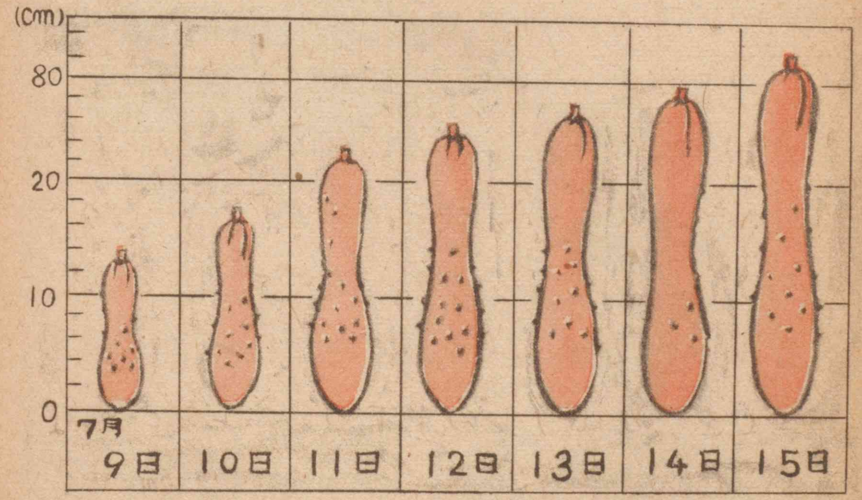
（４）わくの　たてを　20㎝に　すると、がようしの　たては　どれだけ　あまる　こ

とに　なるでしょう。
（5）がようしの　下の　ふちから　2cm　はなして、28cm　の　長さの　せんを　よこに　ひくには、どうしたら　よいでしょう。



がようしの　下の　ふちから　2cm　はなれた　ところに　てんを　二つ　とります。
その　二つの　てんを　つなぎます。
2cm　はなれた　てんを　とるには、ものさしを　がようしの　下の　ふちに　ちょっかくに　あてます。そうして、2cm　の目もりを　よんで　しるしを　つけます。

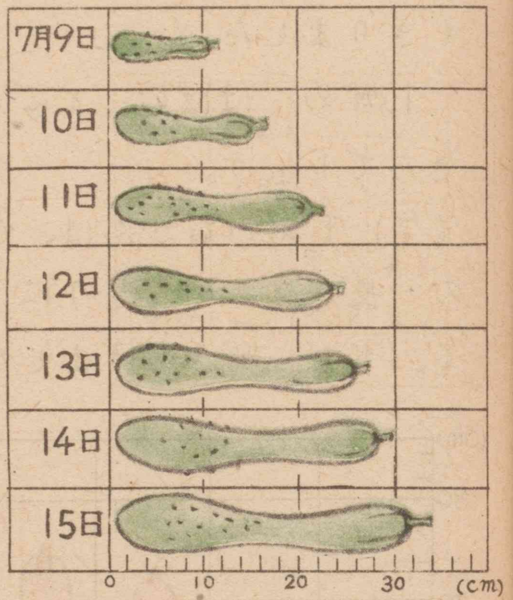
（6）わくの　下の　ほうに、月日を　かくところを　3cm　の　はばに　とりました。
その上　の　ほうを、1cm　の　はばにくぎりました。
1cmの　はばの　ところが、いくつ　できたでしょう。
（7）しんいちさんは、きゅうりの　2cm　の　長さを　一くぎりに　かく　ことに　して、ずを　かきあげました。



なん日と　なん日の　あいだが、1ばんよく　のびたでしょう。

えグラフ

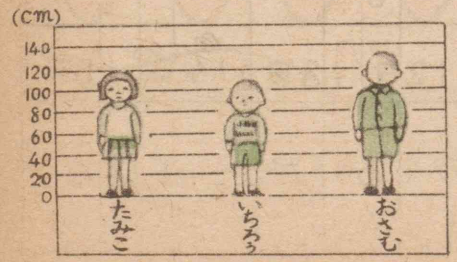
きゅうりや　なすの　のびかたなどを　えに　かきあらわした　ものを　えグラフと　いいます。

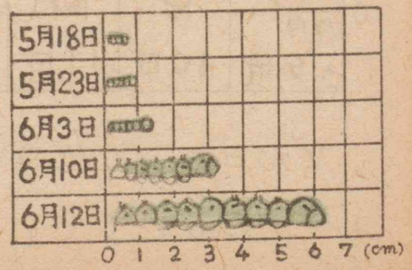


しんいちさんの　かいたのも　えグラフです。

きゅうりを　よこに　ならべて　かいても　えグラフです。

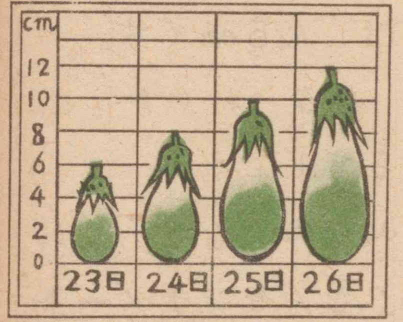
いろいろな　ものの　のびかたや、大きさを　くらべるにも、えグラフを　つかいます。





たろうさん・はなこさん

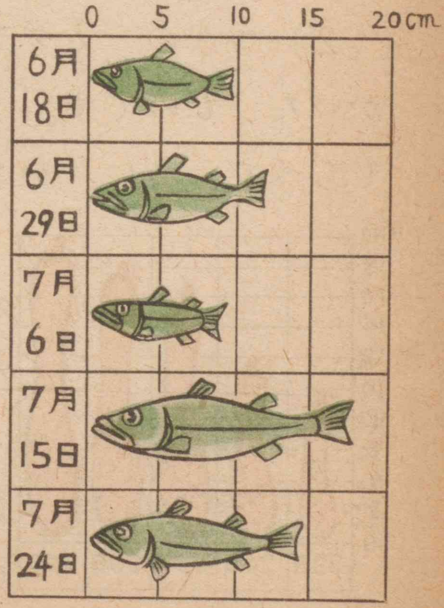
（1）はなこさんは、ひさこさんの　かいた　なすの　えグラフを　みて　います。



一くぎりは、どれだけに　あたるでしょう。

23日から　26日までに、どれだけ　のびたでしょう。

（2）たろうさんは、ときどき　さかなつりに　いきます。つった　うちで、1ばん　大きい　ふなの　長さを　はかって　おきました。



なん月なん日に　つった　ふなが、1ばん　大きいでしょう。

それは　なんセンチメートルでしょう。

テ ス ト

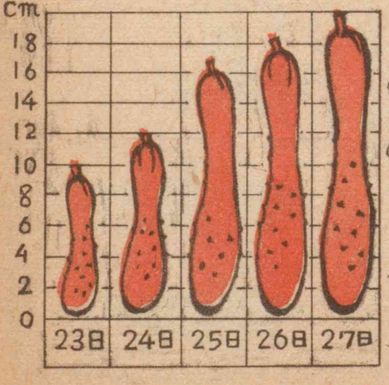
（１）ときおさんは、がようしに　えグラフを　かこうと　して　います。

がようしの　よこはばは　25cmです。

よこはばが　21cm　ある　わくを　とったら　どれだけ　あまるでしょう。

あまった　ところを、わくの　右と　左に　おなじように　わけると、なんセンチメートルずつに　なるでしょう。

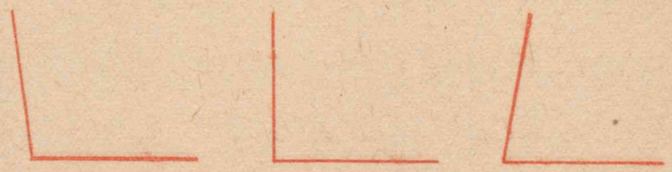
（２）つぎの　えグラフは　みつこさんが　かいた　ものです。きゅうりの　のびかたを　しらべて、表に　かきいれましょう。



１ばん　よく　のびたのは、なん日と　なん日の　あいだでしょう。

23日から　27日までに　どれだけ　のびたでしょう。

（３）下に　かいた　ずで　どれが　ちょっかくに　なって　いるでしょう。



（４）10cm　の　せんを　ひきなさい。

3cm　あいだを　あけて、もう　１本　10cm　の　せんを　ひきなさい。

（５）つぎの　けいさんを　しなさい。

48 ＋37	39 ＋45	28 ＋27	54 ＋29	63 ＋18
94 －46	71 －39	52 －23	95 －66	47 －29
7 ×6	9 ×3	8 ×4	6 ×9	4 ×7

さんすうでの　ことば

「はば」と「あいだ」は、くべつして

つかわなくては　なりません。

つぎの　「はば」と「あいだ」の　つかいかたに　ついて、かんがえて　みましょう。

○　まさおさんの　つくえの　はばは、60 cm　あります。

○　よしこさんの　つくえの　はばも、60 cm　あります。

○　まさおさんの　つくえと　よしこさんの　つくえの　あいだは、50 cm　あります。

○　よしこさんの　つくえと　かべとのあいだは、1 m　あります。

○　ゆかと　てんじょうの　あいだは、3 m　あります。

○　よしこさんの　いえの　ちかくには、はばが　2 mの　おがわが　あります。

れんしゅう

（1）つぎの　たしざんを　しなさい。

9 +5	6 +7	8 +9	4 +8	7 +4
15 + 7	28 + 3	36 + 6	47 + 8	56 + 9
23 +16	14 +13	21 +36	47 +13	52 +28
37 +16	44 +27	19 +36	23 +39	54 +27

（2）つぎの　ひきざんをしなさい。

8 −3	7 −4	10 − 6	11 − 9	12 − 8
13 − 5	17 − 9	15 − 8	24 − 5	36 − 7
30 −12	40 −27	34 −18	46 −19	53 −27

（3）つぎの　かけざんを　しなさい。

2	5	9	3	8	6
×4	×3	×2	×7	×4	×4
7	6	5	7	6	8
×8	×7	×6	×3	×6	×9
4	8	5	9	8	5
×4	×3	×7	×9	×7	×1

（4）つぎの　□の　中に　かずを　いれなさい。

24＝4×□　42＝7×□　63＝9×□

36＝□×4　56＝□×8　45＝□×9

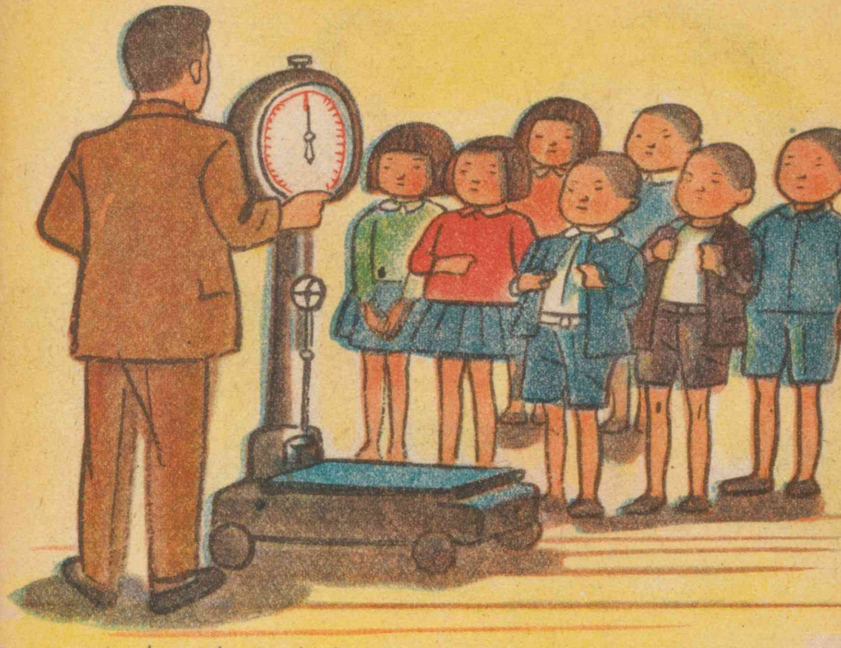
16＝2×□　49＝□×7　72＝9×□

（5）ちかこさんたちが、おはじきを　わけようと　して　います。

おはじきの　かずは　48こ　あります。

6人で　わけると、ひとりが　いくつずつに　なるでしょう。

六　わたくしの　たいじゅう

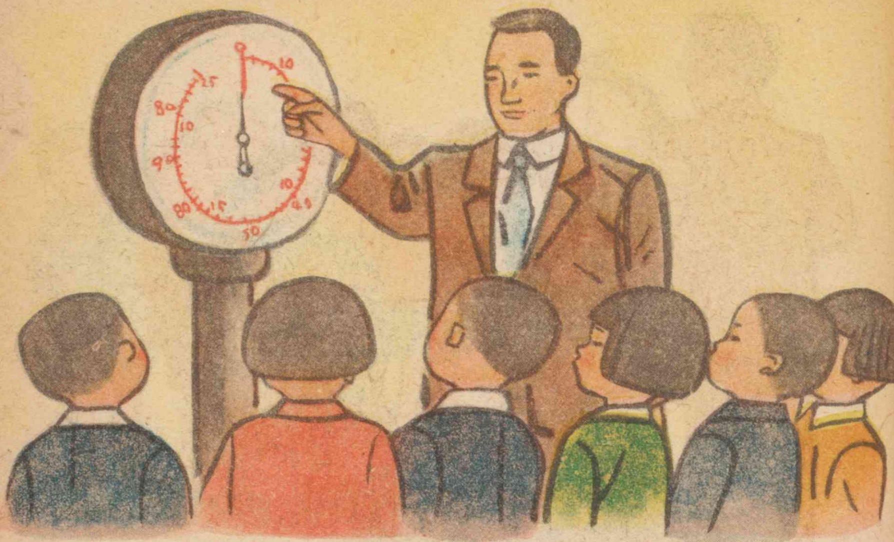


しんいちさんたちは、たいじゅうを　はかりました。

しんいちさんは、じぶんの　たいじゅうと、おともだちの　たいじゅうを　くらべて　みました。いろいろな　しなものの　おもさとも　くらべて　みました。

たいじゅうを　はかるには、どのように　したら　よいでしょう。

じぶんの　たいじゅうを、いろいろな　ものと　くらべて　みましょう。



たいじゅうしらべ

しんいちさんたちの　くみでは、たいじゅうを　はかる　ことに　なりました。

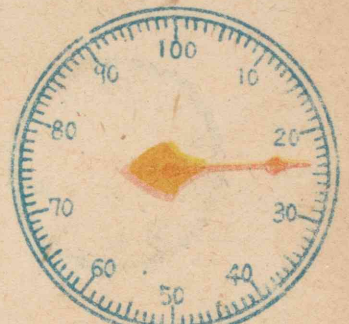
ひとりひとり、はかりの　上に　のって、たいじゅうを　はかって　います。

先生は、はかりの　目もりの　よみかたを、よく　わかるように　はなして　いらっしゃいます。

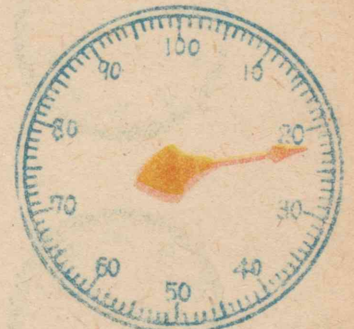
しんいちさんたちは、じぶんの　たいじゅうが　わかったので、たいじゅうの　くらべあいを　しました。

（1）しんいちさんが、はかりの　だいに　のると、はかりの　はりが　うごきました。

目もりを　どの　ように　よめば　よいでしょう。



（2）さぶろうさんが、はかりの　だいに　のりました。たいじゅうは、なんキログラムでしょう。



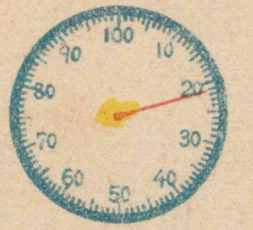
はかりの　はりが、きちんと　目もりの　ところに　こない　ときは、

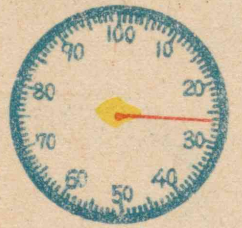
「22キログラムより　すこし　おもい。」

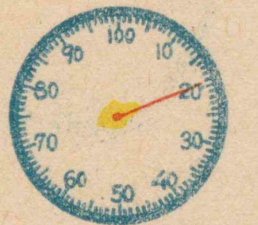
「22キログラムより　すこし　かるい。」

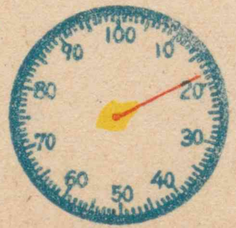
などと　いいます。

（3）さぶろうさんと　しんいちさんでは、どちらが　どれだけ　おもいでしょう。









（4）かずこさん、あきらさん、ふみこさん、みのるさんの　たいじゅうは、なんキログラムでしょう。

（5）しんいちさんや、さぶろうさんも　いれて、6人を　くらべると、だれが　1ばん　おもいでしょう。1ばん　かるいのは　だれでしょう。

おもい　じゅんに　いって　みましょう。

キ　ロ　グ　ラ　ム

ものの　おもさを　はかるには、はかりを　つかいます。

おもさを　はかるには、1キログラムを　もとに　して　はかります。

キログラムは　右のように　かきます。

Kg

はかりには　いろいろ　あります。

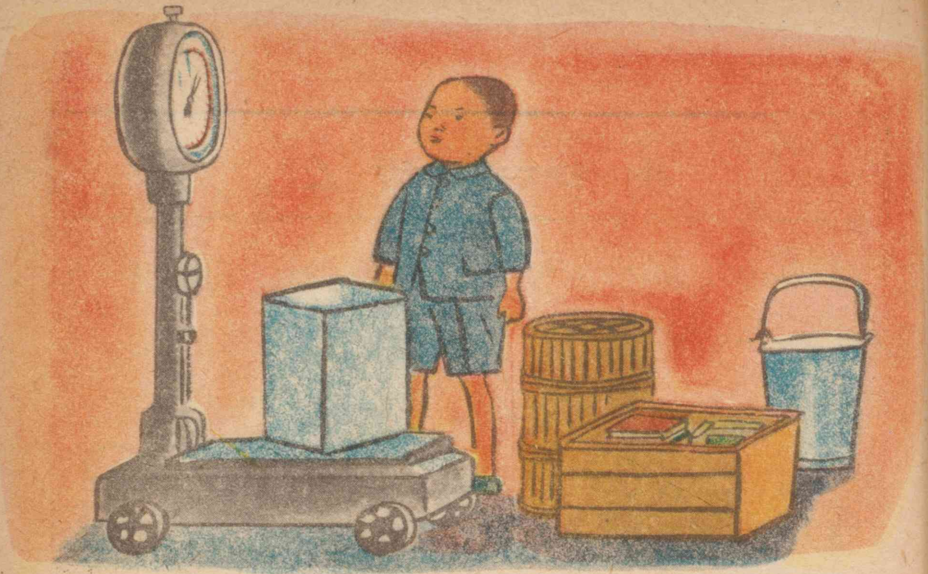
目もりを　100kgまで　したのや、60kgまで　したのが　あります。ほかにも、いろいろな　目もりの　はかりが　あります。

キログラムを　つかって　おもさを　あらわすには、つぎのような　いいかたが　あります。

（1）かずこさんの　たいじゅうは、21kgあります。

（2）この　石の　おもさは、3kgです。

（3）この　いもの　めかたは、5kgです。



わたくしたちの　たいじゅう

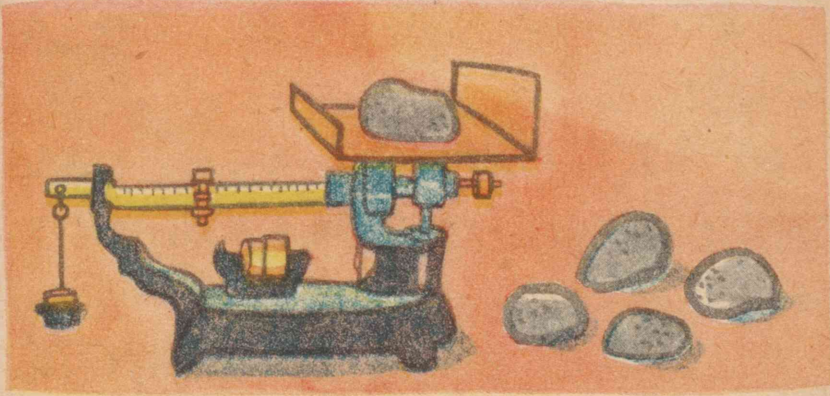
しんいちさんは、じぶんの　たいじゅうが 24キログラムだと　わかったので、24キログラムは、どれくらいの　ものと　おなじだろうかと、かんがえて　みました。

そうして、水を　入れた　バケツや、石などを　もって　きて、いろいろ　はかって　みました。

はかって　みると、思ったよりも　おもいものも　ありました。はんたいに、かるいものも　ありました。

しんいちさんは、一つ一つ　じぶんの　たいじゅうと　くらべて　みました。

（1）どれくらいの　大きさの　石が　1 kg あるでしょう



（2）しんいちさんは、教室に　あった　バケツに、水を　いれて　はかって　みました。

水を　いれた　バケツの　おもさは、6 kg　ありました。

しんいちさんの　たいじゅうは、この　なんばいでしょう。

（3）しんいちさんは　つぎに、すなを　いれて　みました。すなを　いれた　バケツの　おもさは、8 kg　でした。

しんいちさんの　たいじゅうは、この　なんばいでしょう。

（4）つぎに、りかしつに　あった　大きな　バケツに、水を　いれて　みました。おもさは、12 kgでした。

たいじゅうと　くらべると、どれだけ　ちがうでしょう。

（5）本を　みかんばこに　つめた　おもさは、18 kgでした。

たいじゅうと　くらべると、どちらが　どれだけ　おもいでしょう。

（6）こんどは、すみを　いれた　たわらの　おもさを　はかろうと　しています。おもさは　どれだけ　あるでしょう。

たろうさん・はなこさん

（1）たろうさんは、おうちの　はたけから、かぼちゃを　5こ　とりました。

イ	3 kg
ロ	4 kg
ハ	3 kg
ニ	2 kg
ホ	3 kg

1こずつの　おもさを　はかりました。

かぼちゃの　おもさは、みんなで　どれだけ　あるでしょう。

（2）たろうさんの　たいじゅうは、21 kg　あります。とりいれた　かぼちゃの　おもさは、たいじゅうより　どれだけ　かるいでしょう。

（3）たろうさんは、3 kg　ある　かぼちゃと、じぶんの　たいじゅうを　くらべて　みました。

たろうさんの　たいじゅうは、かぼちゃの　なんばいでしょう。

（4）はなこさんは　はたけから　とって

きた　さといもの　おもさを　はかって　います。

おもさが　1 *kg*　ある　かごに　さといもを　いれて　はかったら、14 *kg*　ありました。

さといもの　おもさは、なんキログラムでしょう。

（5）はなこさんたちは、学校の　はたけから　とりいれた　かぼちゃの　おもさを、組べつに　はかりました。

1組	2組	3組	4組	5組
12 *kg*	18 *kg*	21 *kg*	19 *kg*	23 *kg*

かぼちゃが　1ばん　おおく　とれたのは　なん組でしょう。

1ばん　おおい　組と、1ばん　すくない　組では　どれだけ　ちがうでしょう。

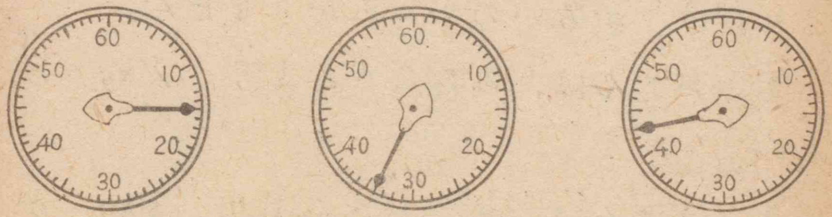
かぼちゃは　みんなで　どれだけ　とれたでしょう。

テスト

（1）まさおさんの　たいじゅうは、26 *kg*　あります。おとうさんの　たいじゅうは、54 *kg*です。

まさおさんは、おとうさんよりも　どれだけ　かるいでしょう。

（2）つぎの　おもさは　どれだけでしょう。



（3）つぎの　けいさんを　しなさい。

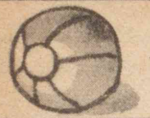
$$\begin{array}{r}28\\+45\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}37\\+29\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}54\\+37\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}64\\-27\\\hline\end{array}\quad\begin{array}{r}81\\-34\\\hline\end{array}$$

8×7　　6×9　　4×6　　5×8

（4）□の　中に　かずを　いれなさい。

$9\times\square=45$　$7\times\square=28$　$6\times\square=48$

$\square\times4=36$　$\square\times3=24$　$\square\times7=49$

 さんすうでの　ことば

おもさを　しらべるには、どのような　いいかたを　したら　よいでしょう。

「まさおさんは　みちこさんより　おもい。」

「みちこさんは　まさおさんより　かるい。」

と　いうように、「おもい」とか「かるい」とか　いっただけでは、どれだけ　おもいのか、どれだけ　かるいのか　わかりません。

「まさおさんは、みちこさんより　2 kg　おもい。」

「みちこさんは、まさおさんより　3 kg　かるい。」

と　いう　いいかたを　すれば、どれだけ　おもいのか、どれだけ　かるいのか　はっきりします。

このように、おもさを　くらべるには、ちがいを　はっきり　させた　ほうが　よく　わかります。

れんしゅう

（1）つぎの　けいさんを　しなさい。

17 + 7	24 + 8	9 + 24	7 + 25	8 + 38
36 + 19	45 + 27	14 + 39	26 + 36	17 + 56
18 − 9	25 − 8	41 − 3	55 − 46	72 − 68
45 − 19	63 − 27	54 − 28	41 − 13	74 − 37
8 × 7	9 × 3	3 × 7	4 × 8	6 × 9
6 × 6	7 × 9	6 × 8	4 × 9	5 × 8

（2）□の　中に　かずを　いれなさい。

18＝□×2　48＝8×□　72＝9×□

8×□＝24　□×7＝56　□×6＝42

（3）つぎの〰の　上に、＋，－，×の　しるしを　いれなさい。

2 〰 1 ＝ 3　　　1 〰 1 ＝ 1

6 〰 9 ＝ 15　　　5 〰 3 ＝ 15

8 〰 4 ＝ 32　　　12 〰 4 ＝ 8

12 〰 6 ＝ 6　　　24 〰 8 ＝ 32

7 〰 6 ＝ 42　　　9 〰 9 ＝ 18

（4）たかしさんたちは、かけっこを　して　います。7人ずつの　組が、3組　はしりました。まだ、4組　のこって　います。

はしらない　人は、　なん人でしょう。

（5）あけみさんたち　28人は、学校の　おにわの　そうじを　する　ことに　なりました。おそうじを　する　ばしょが、四つ　あります。おなじ　人ずに　わけると　一つの　ばしょを　なん人で　すれば　よいでしょう。

さくいん

	理解と技能	上巻	下巻
数を書いたり読んだりする。数える。	◦1000まで数えたり、書いたりする。	30	26, 28, 34, 40-41, 63, 102
加法	◦被加数、加数共に、一位数、二位数、三位数て、和は1000以下、繰り上る場合(一回、二回）に及ぶ	13, 15,25, 29, 31, 32, 34, 58, 75, 89, 91,103, 105	23-40, 43-44, 46, 61-62, 77, 79, 96, 98, 108, 115, 116-117
減法	◦被減数が三位数、減数が位数、二位数、三位数で、繰り下がる場合（一回、二回）に及ぶ。		46-61, 63-64, 73, 77, 79, 96, 98-99, 108, 118-120
乗法	◦乗法　九九。	34-60, 62, 64, 92, 103, 105-106 6	17, 40, 42-43, 63, 77, 79-80, 99, 121-122
	◦乗数と被乗数とを交換してたしかめる。	51-52, 56	
除法	◦乗法九九によって、x×a＝b, a×x＝b のxを求めることから、除法の準備をする。	65-69, 92, 103, 105-106	17, 40, 42-43, 77, 80, 99, 122
測定	◦五分単位で時刻や時間を表わす。	2-5, 7, 10-12, 14, 16	105
	◦kg単位で重さを測る。	94-104	69, 75, 106, 113
	◦l, dl を単位にして、容積を測る。		4, 15, 20, 106
	◦高さ、幅、厚さ、深さ、太さ（さしわたしや、まわりで）を測る。	79-80, 82-85, 88-90	5-11, 16, 18, 20, 39, 69, 107

	理解と技能	上　巻	下　巻
測定	◦ 歩幅、指を開いた幅両手を開いた幅などて、長さを概測する。		5-11, 15-17, 107
	◦ 磁石を使って、方位をきめる。		12-14, 84, 105
	◦ 右、左、上、下，前後；間。	83-85, 88-90	
名数	◦ 1 l＝10 dl		4, 74, 106
	◦ 1日＝24時間、1時間＝60分	5-9, 13-15	13, 15, 105
	◦ 各月の日数。1年は12か月	19-24, 28-29, 79	105
問題解決	◦ 乗法九九を用いる一段階の問題。	34-50, 53, 56, 60, 62-72, 74, 76, 83, 92, 99-101, 106	15-16, 20, 30, 38, 44, 59, 74, 80, 86, 89, 110, 111,
	◦ 加法、減法による二段階の問題。	11, 27-28	71, 3, 15-16, 24, 31, 32, 37, 39, 52, 64, 84, 86, 93, 100, 112-113
実務	◦ 定価表。		82-83, 85-88, 108
	◦ 買物。	33-60	81-97
	◦ 日本のおかね。	26-28, 34-40, 43-47, 62-66,	46-47, 51-52, 59, 82-83,
小数	◦ 2円45銭を2.45円と書いたりして、小数の準備をする。		85-88, 93
グラフ	◦ えグラフ。	82-88	68, 78, 109
	◦ ぼうグラフ。		68-70, 72-76, 78, 109
形	◦ 円、さしわたし、中心。		8, 9, 11, 18, 20, 104
	◦ ちょっかく。	81, 84, 89	104

Copyright 1950, by
The Gakkō Tosho Kenkyukai

All rights reserved

The text of this publication or any part thereof may not be reproduced in any manner whatsoever without permission in writing from the authors.

小算 311

本書の指導書・ワークブック・註釈書ならびにこれに類する一切のものの無断発行を禁ず。

さんすうのがくしゅう　三年生 上　Approved by Ministry of Education (Date 1950)

編者　広島市東千田町　広島高等師範学校附属小学校内
財団法人 学校図書研究会
会長　広島高等師範学校教授　森岡文策
担当執筆者　広島高等師範学校教諭　磯部唯之
〃　河内山忠雄
〃　村井義雄
〃　脇辰徳
表紙　大槻定雄
さしえ　大石哲路

昭和25. . . 印刷　昭和25. . . 発行　¥

著作者　財団法人 学校図書研究会　会長 森岡文策

発行者　学校図書株式会社　東京都港区芝三田豊岡町 8　代表者 川口芳太郎

印刷者　図書印刷株式会社　東京都港区芝三田豊岡町 8　代表者 川口芳太郎

東京都港区芝三田豊岡町 8
発行所　学校図書株式会社

広島大学図書
0130449821